

LHD-LANシリーズ ユーザーズマニュアル

はじめてご使用になる場合

管理者として管理画面にアクセスする

一般ユーザがデータエリアにアクセスする

管理ソフトウェアの使い方

ログイン

パスワードの設定

ユーザの登録方法

共有フォルダの作り方

フォトステーション機能の利用方法

簡易Webサーバ機能の利用方法

メディアサーバ機能について (※)

USB機器の利用方法

設定可能な機能一覧

※LHD-LANGVシリーズのみ

ハードウェアリファレンス

製品の概要

使用環境について

各部の名称と機能

装置の設置と使い方

USB機器の使用について

ハードウェア仕様

その他

故障かな?と思ったら

用語集

設定制限表

保証とサービスについて

初めてご使用になる場合

ここでは、初めてLHD-LANシリーズをご使用になる場合の、管理画面へのアクセス方法と一般のユーザーがネットワーク経由で各フォルダにアクセスする方法を個別にご紹介します。参照したいトピックをクリックしてください。

管理者として管理画面にアクセスする

一般ユーザーがデータエリアにアクセスする

管理者として管理画面にアクセスする

管理画面にアクセスするには、付属の「LHD-LANサポートディスク」に収録されているセットアップランチャーから実行します。アクセス方法には次の2種類があります。

- ・ 1クリックセットアップ

全ての設定を自動的に行う方法です。

- ・ 詳細設定セットアップ

LHD-LAN シリーズのホスト名、管理者パスワード、ネットワーク環境の設定を順番に設定してゆく方法です。

それぞれの設定方法を参照するには、以下のボタンをクリックしてください。

1クリックセットアップ

詳細設定セットアップ

Mac OS 9環境は、クイックセットアップツールには未対応です。Mac OS 9用アシスタントツールでのアクセスになります。Mac OS 9からの設定方法は、以下のボタンをクリックしてください。

Mac OS 9でのセットアップ

1 クリックセットアップ

1

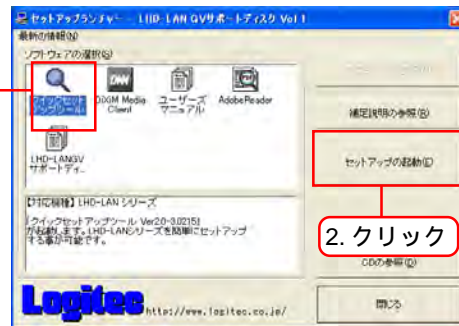
Windows 環境の場合

付属の LHD-LAN サポートディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットしてください。
自動的にセットアップランチャーが起動して右の画面が表示されます。

ここで、

1. 「クイックセットアップツール」をクリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

1. クリック



2. クリック

Mac OS X環境の場合

付属の LHD-LAN サポートディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットしてください。

1. デスクトップにサポートディスクのアイコンがマウントされるので、ダブルクリックして開き、
2. その中にある「Mac OS X」フォルダデスクトップにコピーし、フォルダをダブルクリックして開いてください。
3. 「クイックセットアップツール」のアイコンをダブルクリックしてください。

1. CD-ROM のアイコンを
ダブルクリック



LHD-LANサポートディスク

2. Mac OS X フォルダをデスクトップにコピーし、ダブルクリック



Mac OS X

3. 「クイックセットアップツール」
をダブルクリック



クイックセットアップツール

- 2 右の画面が表示されますので、下の部分にある「1クリックセットアップ」を選択し、「完了」ボタンをクリックしてください。

1. 「1クリックセットアップ」を選択
2. 「完了」をクリック

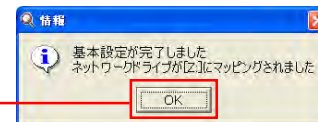


- 3 自動的にご使用のLHD-LANに設定が適用されます。設定には数十秒から数分時間がかかる場合があります。
ユーザーはこの間、何もする必要はありません。

- 4 設定情報の登録が完了すると、右のようなダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

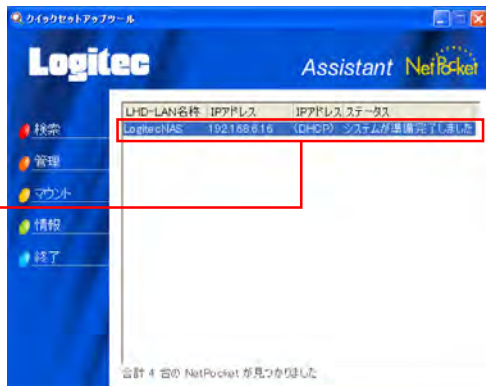
設定が完了するとLHD-LAN内の共有フォルダ「public」がネットワークドライブにマッピングされます。

クリック



- 5 クイックセットアップツール内に、ご使用の LHD-LAN シリーズが登録されま
す（デフォルトの LHD-LAN 名称は LogitechNAS となります）。
管理画面にアクセスするには、画面内に登録されているご使用の LHD-LAN シ
リーズの LHD-LAN 名称をダブルクリックしてください。

ダブルクリック



Tips

クイックセットアップを行ったクライアントパソコンには、自動的に LHD-LAN 内の public フォルダがネットワークドライブとしてマッピングされ、マイコンピュータ上（Windows 環境）またはデスクトップ上（Mac OS X 環境）からアクセス可能となります（ただし、そのパソコンから別のユーザ名でログインしても、ネットワークドライブはマッピングされません）。

クイックセットアップにてマッピングされたネットワークドライブは admin ユーザ権限として登録されます。このユーザーが、後から、別のユーザー名で本製品を使用したい場合は、ユーザー名を登録後、いったんマッピングされたドライブを全て削除し、登録したユーザー名で本製品内の任意のフォルダをネットワークドライブとして新たに登録する必要があります。

左画面の「マウント」ボタンは Windows 環境のみ表示されます。

- 6 Web ブラウザが起動し、ログイン画面が表示されますので、ワンクリックセットアップではデフォルトではパスワードが設定されていないので、そのまま「ログイン」ボタンをクリックしてください。



クリック

- 7 管理画面が表示されます。管理画面では共有フォルダ設定や、ユーザーの登録、パスワードの設定、USB機器の設定などさまざまな機能を実行することができます。

詳しくは、「管理ソフトウェアの使い方」をご参照ください。



詳細設定セットアップ

1

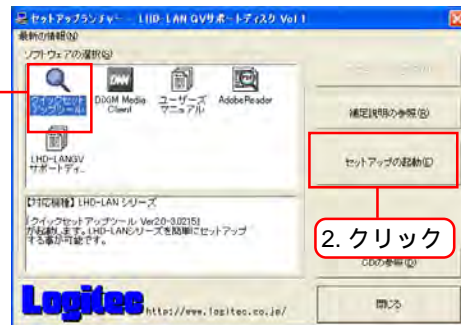
Windows 環境の場合

付属のLHD-LAN サポートディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
自動的にセットアップランチャーが起動して右の画面が表示されます。

ここで、

1. 「クイックセットアップツール」をクリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

1. クリック



2. クリック

Mac OS X環境の場合

付属のLHD-LAN サポートディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。

1. デスクトップにサポートディスクのアイコンがマウントされるので、ダブルクリックして開き、
2. その中にある「Mac OS X」フォルダをデスクトップにコピーし、フォルダをダブルクリックして開いてください。
3. 「クイックセットアップツール」のアイコンをダブルクリックしてください。

1. CD-ROMのアイコンをダブルクリック



2. Mac OS Xフォルダをデスクトップにコピーし、ダブルクリック

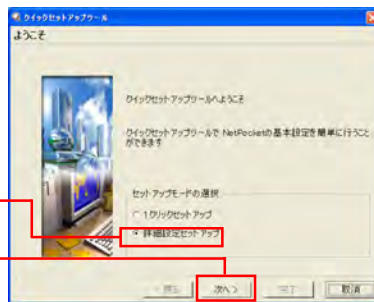


3. 「クイックセットアップツール」をダブルクリック



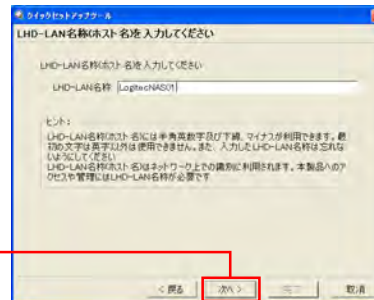
- 2 以下の画面が表示されますので、下の部分にある「詳細設定セットアップ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 「詳細設定セットアップ」を選択
2. 「次へ」をクリック



- 3 LHD-LAN 名称 (ホスト名) を入力する画面が表示されます。
必要があれば名称を変更して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック



Tips

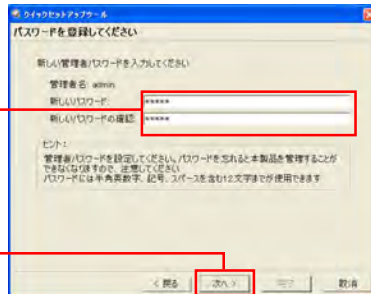
複数の弊社製NAS製品を導入される場合、デフォルトのホスト名 (LogitecNAS) を変更してください。ネットワーク上に同じホスト名が重複すると正常に動作しません。ホスト名には、半角英数字および下線、マイナスが利用できます。最初の文字は英字以外は使用できません。

設定したホスト名は忘れないようにしてください。

- 4** 管理者 (admin) パスワードの設定画面が表示されます。本製品は、デフォルトではパスワードが設定されていません。必要であれば、ここでパスワードを設定してください。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。

1. パスワードを入力(2回)

2. 「次へ」をクリック

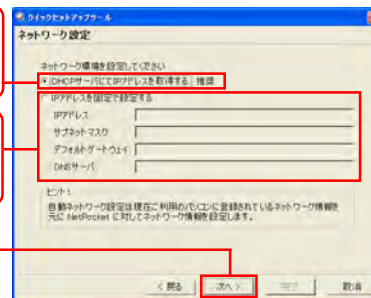


- 5** ネットワーク設定画面が表示されます。

・ ご使用のネットワーク内にDHCPサーバがある場合は、「DHCPサーバにてIPアドレスを取得する」がチェックされます。

・ DHCPサーバがない場合は、IPアドレス、サブネットマスク等の欄にネットワーク環境に応じた値が自動的に検出されます。

確認後、「次へ」ボタンをクリックします。



注意

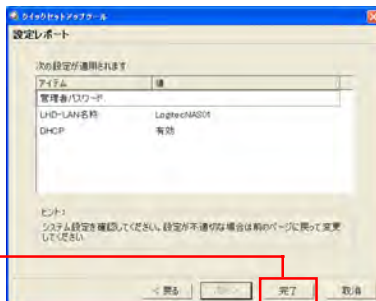
管理者パスワードを忘れると、再度システムを設定しなおすことができなくなります。決して忘れないように管理してください。忘れた場合、弊社でもサポートいたしかねます。パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した12文字までで登録可能です。英字の大文字・小文字も区別されるので、気を付けてください。
詳しくは設定制限表をご参照ください。

Tips

手で設定する場合[IPアドレス] [サブネットマスク] は必須項目ですので必ず入力してください。

入力する値はネットワークの形態や設定により大きく異なります。この値がわからない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

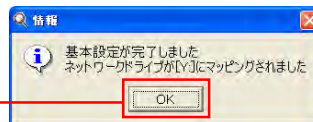
- 6 設定レポートが表示されます。内容を確認後、「完了」をクリックしてください。



- 7 設定内容がご使用のLHD-LANシリーズに適用されます。設定には数十秒から数分時間がかかる場合があります。ユーザーはこの間、何もする必要はありません。



- 8 設定情報の登録が完了すると、右のようなダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

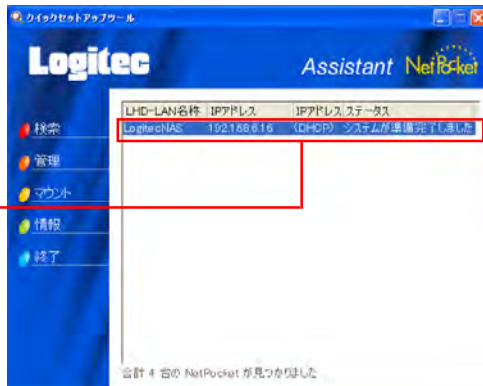


9

クイックセットアップツール内に、ご使用のLHD-LANシリーズが登録されます（デフォルトのホスト名はウィザードの途中でお客様が指定した名前になります）。

管理画面にアクセスするには、画面内に登録されているご使用のLHD-LANシリーズのホスト名をダブルクリックしてください。

ダブルクリック



Tips

クイックセットアップを行ったクライアントパソコンには、自動的にLHD-LAN内のpublicフォルダがネットワークドライブとしてマッピングされ、マイコンピュータ上（Windows 環境）またはデスクトップ上（Mac OS X 環境）からアクセス可能となります（ただし、そのパソコンから別のユーザ名でログインしても、ネットワークドライブはマッピングされません）。

クイックセットアップにてマッピングされたネットワークドライブは admin ユーザ権限として登録されます。このユーザーが、後から、別のユーザー名で本製品を使用したい場合は、ユーザー名を登録後、いったんマッピングされたドライブを全て削除し、登録したユーザー名で本製品内の任意のフォルダをネットワークドライブとして新たに登録する必要があります。

10 Web ブラウザが起動し、ログイン画面が表示されますので、セットアップの際に設定したパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

1. パスワードを設定した場合はパスワードを入力
2. クリック



11 管理画面が表示されます。管理画面では共有フォルダ設定や、ユーザーの登録、パスワードの設定、USB 機器の設定などさまざまな機能を実行することができます。

詳しくは、「管理ソフトウェアの使い方」をご参照ください。



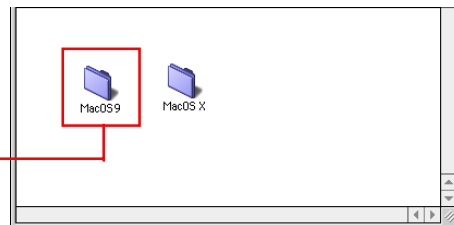
Mac OS 9 でのセットアップ

- 1 付属の LHD-LAN サポートディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、右のアイコンがデスクトップにマウントされるので、ダブルクリックして開いてください。



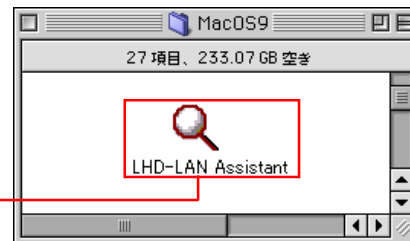
- 2 CD-ROM内のフォルダの中で、[Mac OS 9] フォルダをデスクトップ上にコピーします。

このフォルダをコピー



- 3 コピーしたフォルダをダブルクリックして開き、[LHD-LAN Assistant] をダブルクリックします。

このフォルダをコピー



4 右の画面が表示され画面の下の部分に LAN 上で動作している LogitecNASシリーズが表示されます。設定する装置の[IP の状態]を確認してください。

[IP の状態]に (DHCP)と表示される場合は、設定する装置をダブルクリックして選択してください。

[IP の状態]に (Unknown)と表示される場合は以下をご参照ください

設定する装置を選択します。

[管理] ボタンをクリックします。

[get network configuration manually]を選択してください。IPアドレス、サブネットマスク等の欄にネットワーク環境に合った値を入力します。

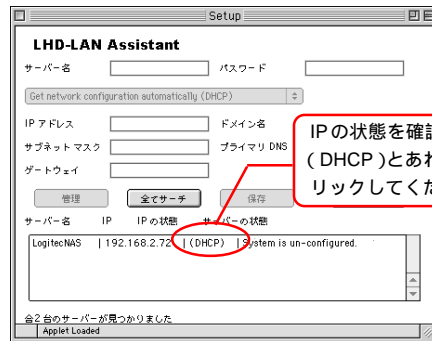
[保存] ボタンをクリックします。

再度設定する装置をクリックします。

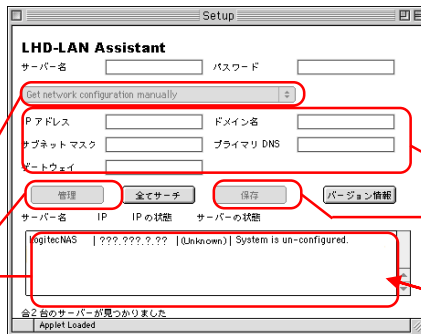
3. [get network configuration manually] を選択

2. [管理] をクリック

1. この欄にサーバ名が表示されるので選択してください。



DHCP とある場合



Unknown とある場合

- 5** インターネットエクスプローラが起動し、セットアップウィザード画面が表示されます。「開始」ボタンをクリックしてください。

セットアップウィザード

このセットアップウィザードにより基本的な設定を行うことができます。最後のページの「完了」をクリックしない限りは設定は反映されません。

「開始」をクリックしてウィザードを開始してください

クリック

開始

ヘルプ

- 6** セットアップウィザードが起動します。ここではホスト名、パスワードを変更することができます。本製品は、デフォルトではパスワードが設定されていませんので、ここでパスワードを設定してください。

必要な設定が終わったら「次へ」をクリックしてください。

セットアップウィザード

ステップ：システム設定 > ネットワーク設定 > 日時設定 > プロトコル設定

LHD-LANの名称(ホスト名)を入力してください

LHD-LANの名称：

LogitecNAS

管理者パスワードを入力してください

パスワード：

パスワードの確認：

1. LHD-LAN 名称、
パスワードを設定

次へ

中止

ヘルプ

2. 「次へ」をクリック

Tips

複数の弊社製NAS製品を導入される場合、区別をつけるためにデフォルトのサーバ名(LogitecNAS)を変更してください。サーバ名が重複すると正常に動作しません。

管理者パスワードを忘れると、再度システムを設定しなおすことができなくなります。決して忘れないように管理してください。忘れた場合、弊社でもサポートいたしかねます。

パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した12文字までで登録可能です。英字の大文字・小文字も区別されるので、気を付けてください。

詳しくは設定制限表をご参照ください。

7 ネットワークの設定画面が表示されます。

- ・ ご使用のネットワーク内に DHCP サーバがある場合は、「DHCP より情報を取得する」をチェックしてください。
- ・ 手で設定を行う必要がある場合は、「手で設定する」をチェックし、IP アドレス、サブネットマスク等の欄にネットワーク環境に応じた値を入力してください。

必要な設定が終わったら「次へ」をクリックしてください。

セットアップウィザード
ステップ: システム設定 > ネットワーク設定 > 日時設定 > プロトコル設定

DHCPサーバより情報を取得する
 手で設定する

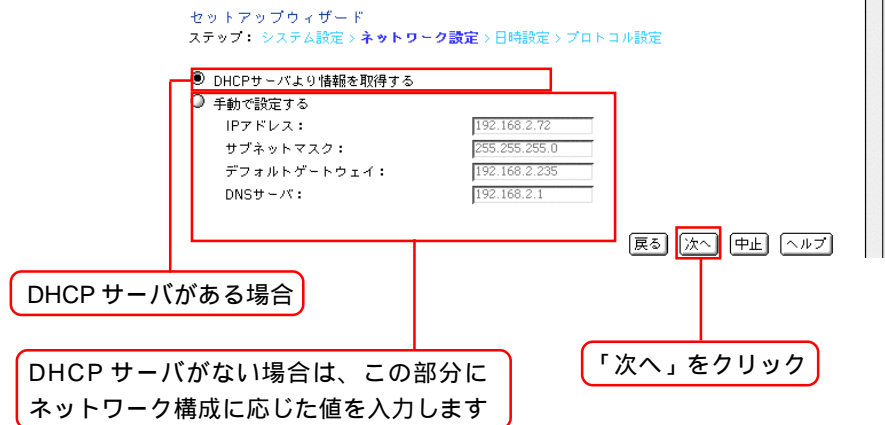
IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.2.72"/>
サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ:	<input type="text" value="192.168.2.235"/>
DNSサーバ:	<input type="text" value="192.168.2.1"/>

戻る **次へ** 中止 ヘルプ

DHCP サーバがある場合

DHCP サーバがない場合は、この部分にネットワーク構成に応じた値を入力します

「次へ」をクリック



Tips

固定で設定する場合、[IPアドレス] サブネットマスク] は必須項目ですので必ず入力してください。

入力する値はネットワークの形態や設定により大きく異なります。この値がわからない場合は、そのネットワーク管理者にご相談ください。

8

日付と時刻の設定画面が表示されます

- ・ タイムゾーンの下のパルダウンリストから「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」を選択してください。
- ・ 「手動による日付、時刻の設定」の欄で、日付と時刻を指定してください。

必要な設定が終わったら「次へ」をクリックしてください。

セットアップウィザード
ステップ: システム設定 > ネットワーク設定 > 日時設定 > プロトコル設定

タイムゾーン:
(GMT+9:00) 東京、大阪、札幌

手動による日付・時刻の設定:
年: 2004 月: 05 日: 17
時: 17 分: 02 秒: 33

戻る 次へ 中止 ヘルプ

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」を選択

日付と時刻を指定

「次へ」をクリック

Tips

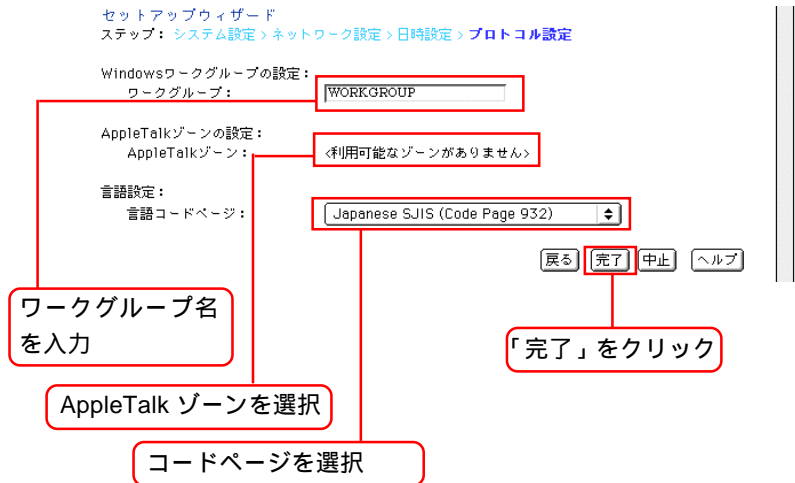
タイムサーバを参照して時刻合わせを行いたい場合は、セットアップウィザード終了後に、「共有設定」メニューの「時刻」を選択して設定することができます。

9

Windows のワークグループ、Apple Talk ゾーン、コードページの設定画面が表示されます。

本製品が参加するワークグループ名、Apple Talk ゾーン、コードページを指定してください。

設定が終わったら「完了」ボタンをクリックしてください。



Tips

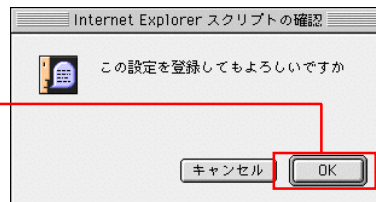
ワークグループとは、同一 LAN 内の Windows パソコン同士がネットワークを共有する際に、他のパソコンを参照しやすいように設定するグループのことです。デフォルトでは「WORKGROUP」を入力されています。

Apple Talk ゾーンとは、Apple Talk でネットワーク上のパソコンやプリンタが分類されているグループのことです。デフォルトでは、「Apple-NAS (default)」と入力されています。ネットワーク内に AppleTalk のゾーン設定がなされていない場合は「利用可能なゾーンはありません」と表示されますが、問題ありませんので、その他の設定を行った後「完了」ボタンをクリックしてください。

言語コードページとは、本製品内の OS 上で使用する言語のページのことです。「Japanese SJIS (Code Page 932)」以外は選択しないでください。「Japanese SJIS (Code Page 932)」以外の設定は未サポートですのでご注意ください。

10

確認のメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックしてください。



11

設定が反映され、設定情報が表示されます。内容を確認し「続行」ボタンをクリックしてください。



クリック

12 Web ブラウザが起動し、ログイン画面が表示されますので、セットアップの際に設定したパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

1. パスワードを設定した場合は
パスワードを入力
2. クリック



13 管理画面が表示されます。管理画面では共有フォルダ設定や、ユーザーの登録、パスワードの設定、USB 機器の設定などさまざまな機能を実行することができます。

詳しくは、「管理ソフトウェアの使い方」をご参照ください。



一般ユーザーがデータエリアにアクセスする

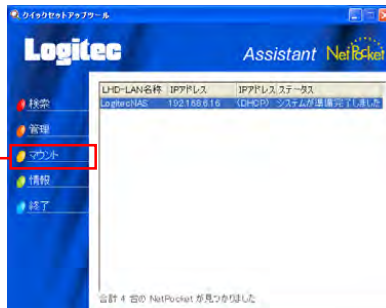
FTPでアクセスする場合は、[ここをクリック](#)

Macintosh 環境の場合は、[ここをクリック](#)

Windows 環境の場合 - ドライブのマッピング (ドライブマップウィザード)

- 1 付属のCD-ROMからクイックセットアップツールを起動し、画面左側のマウントボタンをクリックします。

クリック



- 2 ドライブマップウィザードが起動します。ご自身のマイコンピュータ上にマッピングしたい共有フォルダを選択して「次へ」をクリックしてください。

1. 共有フォルダを選択

2. 「次へ」をクリック



Tips

Windows 環境の場合、ドライブマップウィザードを使用することで、ご使用のLHD-LANシリーズの共有フォルダをクライアントコンピュータのマイコンピュータ上に登録することができます。

このウィザードを使用して、共有フォルダを登録しておけば、クライアントからはいつでもローカルディスクにアクセスするのと同じ感覚で共有フォルダへアクセスできるようになります。

その他のアクセス方法

ここで紹介する方法の他に、OS 標準の機能を使用してアクセスする方法もあります。

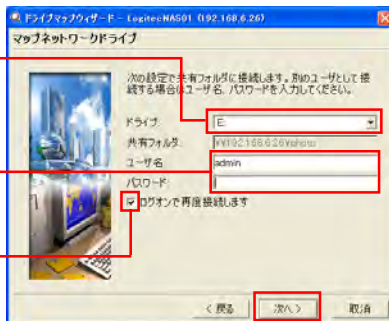
Windows XP からのアクセス

Windows Me, 2000 からのアクセス

Windows 98, NT 4.0 からのアクセス

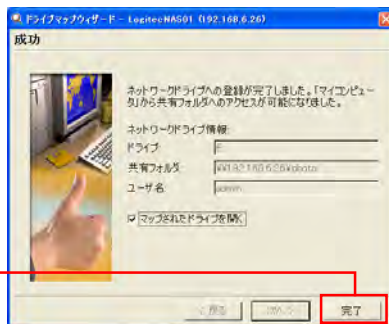
- 3** 右の画面が表示されます。その共有フォルダに割り当てるドライブ名を選択し、アクセス制限が掛けられているフォルダに対しては、ユーザー名とパスワードを入力して、「ログオン時に再度接続します」のチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

1. ドライブ名を選択
2. LHD-LAN に登録されているユーザー名とパスワードを入力
3. 「ログオン時に再度接続します」のチェックボックスをチェック
4. 「次へ」をクリック



- 4** 共有フォルダがマイコンピュータに登録され、右の画面が表示されます。以上でドライブのマッピングは完了です。「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」をクリック



ポイント

「ログオン時に再度接続します」のチェックボックスにチェックを入れることを忘れないでください。このチェックを外してしまうと、パソコンの再起動時にネットワークドライブの接続が解除されてしまいます。

参考

マッピング後の共有フォルダは、マイコンピュータ上に以下のようなネットワークドライブのアイコンで登録されます。



'192.168.6.16' (D) public (Y)

Windows XP の例



Windows 2000、Me、98 の例

Windows XP からのアクセス (SMB 共有)

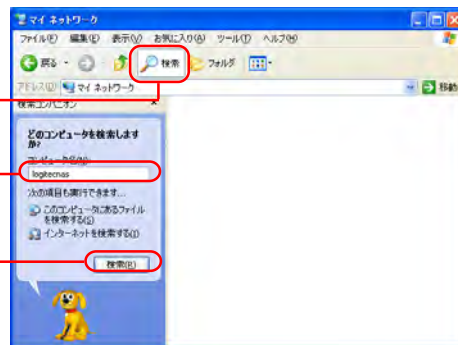
「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を選択後エクスプローラーバーより「マイネットワーク」をクリックして「マイネットワーク」のウィンドウを開きます。

ツールバーの「検索」をクリックします。ウィンドウ左側に「検索コンパニオン」の画面が表示されますので「コンピュータ名 (N)」の欄に本製品のIPアドレスか、LHD-LAN名称を入力し、「検索 (R)」をクリックします。

[検索] をクリック

本製品の IP アドレスか
サーバ名を入力

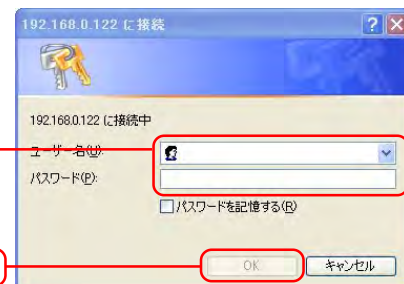
[検索 (R)] をクリック



見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力画面になります。LHD-LAN シリーズに設定したユーザー名とパスワードを入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 設定したユーザー名
とパスワードを入力

2. [OK] ボタンをクリック



Windows XPでのユーザ名とパスワード入力画面

Windows Me , 2000 からのアクセス (SMB 共有)

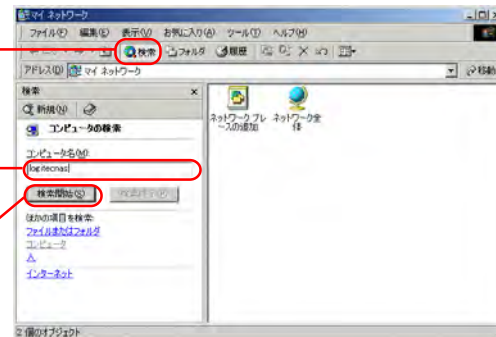
「マイネットワーク」をダブルクリックし「マイネットワーク」のウィンドウを開きます。

ツールバーの「検索」をクリックします。ウィンドウ左側に「コンピュータの検索」画面が表示されますので、「コンピュータ名(M)」の欄に本製品のIPアドレスか、LHD-LAN名称を入力し、「検索開始(S)」をクリックします。

[検索] をクリック

本製品の IP アドレスが
サーバ名を入力

[検索開始 (S)] をクリック

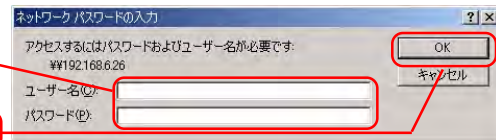


Windows Me の場合は見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダ (public1) が現れます。

Windows 2000 の場合は見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力画面になる場合があります。LHD-LAN シリーズに設定したユーザー名とパスワードを入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 設定したユーザー名
とパスワードを入力

2. [OK] ボタンをクリック



Windows 2000 でのユーザとパスワード入力画面

Windows 98 , NT 4.0からのアクセス (SMB 共有)

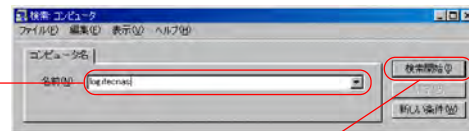
「スタート」ボタンをクリックし、「検索 (C)」を選択後、「ほかのコンピュータ」をクリックし、右のウィンドウを表示させます。

「名前 (N)」の欄に本製品の IP アドレスか、LHD-LAN 名称を入力します。

「検索開始 (I)」をクリックします。

本製品の IP アドレスか
サーバ名を入力

[検索開始 (I)] をクリック

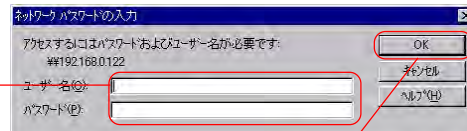


Windows 98 の場合は、見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックします。すると共有フォルダ (Public1) が現れます。

Windows NT 4.0 の場合は見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力画面になる場合があります。LHD-LAN シリーズに設定したユーザ名とパスワードを入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 設定したユーザー名
とパスワードを入力

2. [OK] ボタンをクリック



Windows NT 4.0 でのユーザ名とパスワード入力画面

TIPS

保存できる 1 ファイルの上限容量など OS により仕様の異なる所があります。

「設定制限表」を参照

MacOS からのアクセス (AppleTalk 共有)

Mac OS X の場合

[移動]メニューより - [サーバへ接続]を選択します。
共有ボリューム選択画面が現れますので利用したいボリュームを選択します。

[接続] ボタンをクリックします。

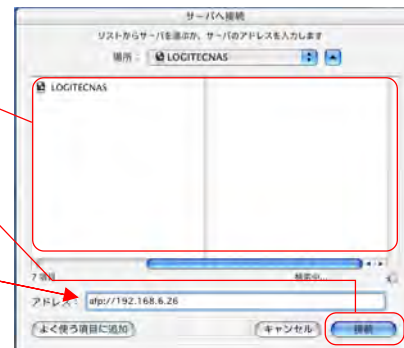
サーバホスト名が現れなければ、[アドレス]の欄にIPアドレスを入力し、[接続] をクリックします。

ユーザー名とパスワードを求めてきますので、本製品にユーザー登録をしていない場合は[ゲスト]のラジオボタンをクリックし、[接続] をクリックします。

2. 利用したいボリュームを選択

3. [接続] ボタンをクリック

ホスト名がない場合は [アドレス] 欄にIPアドレスを入力して[接続]をクリック
この時、先頭を " afp://" としてください。



Mac OS 9 の場合

Apple メニューより [セレクト] を選択します。

[セレクト] の画面が表示されますので [AppleShare] を選択してください。

[ファイルサーバの選択] に現れたリストからサーバホスト名を選択します。

[OK] ボタンをクリックします。

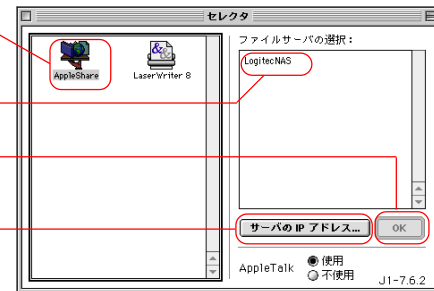
目的のNASサーバ名が現れなければ、[サーバのIPアドレス] ボタンをクリックして、装置のIPアドレスを入力し、[接続] をクリックします。

2. [AppleShare] を選択

3. サーバ名を選択

4. [OK] ボタンをクリック

サーバ名がない場合は [サーバのIPアドレス] ボタンをクリック



ユーザー名とパスワードを求めてきますので、本製品にユーザー登録をしていない場合は[ゲスト]のラジオボタンをクリックし、[接続] をクリックします。

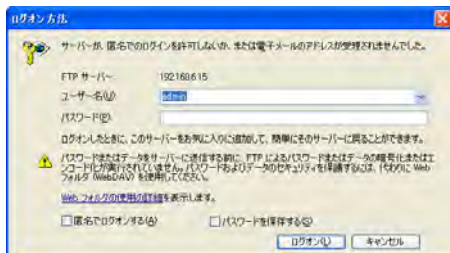
FTPクライアントからのアクセス(FTP共有)

インターネットエクスプローラを起動し、アドレスの欄に以下のように入力します。

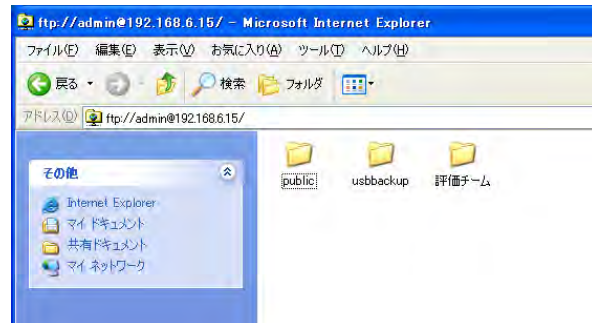
アドレス(D)

xxx.xxx.xxx.xxx は本製品の IP アドレスまたはホスト名となります。

以下のようなダイアログボックスが表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力してください。



本製品内の共有フォルダが表示されます。読み込み書き込み可能なユーザとしてログインした場合は、フォルダ内のデータの読み込み、書き込みが可能です。



Macintosh環境からアクセスした場合は、書込みはできません。読み込みのみ可能となります。

本製品の出荷時状態では、FTP共有は設定されておりません。FTP共有を行うには管理画面からの設定が必要です。

管理ソフトウェアの使い方

ここでは、初めてLHD-LANシリーズをご使用になる場合の、管理画面へのアクセス方法と一般のユーザーがネットワーク経由で各フォルダにアクセスする方法を別々にご紹介します。参照したいトピックをクリックしてください。

ログイン

パスワードの設定

ユーザーの登録方法

共有フォルダの作り方

フォトステーション機能の利用方法

簡易 Web サーバ機能の利用方法

メディアサーバ機能について (LHD-LANGV シリーズのみ)

USB 機器の利用方法

設定可能な機能一覧

ログイン

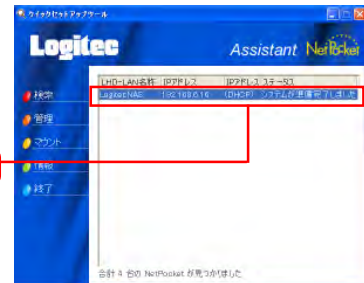
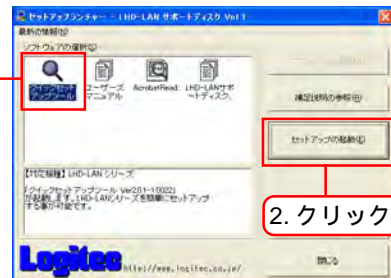
1 Windows 環境の場合

管理画面へログインするには、付属のLHD-LANサポートディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
自動的にセットアップランチャーが起動して右の画面が表示されます。

ここで、

1. 「クイックセットアップツール」をクリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

クイックセットアップツールが起動して、ネットワーク上に存在するLHD-LANを検索します。
検索が終了したら、右の画面が表示されますので、該当の機器をダブルクリックしてください。



Mac OS X 環境の場合

デスクトップにコピーしたMac OS Xフォルダを開き、「クイックセットアップツール」のアイコンをダブルクリックして起動し、表示される画面から該当の機器をダブルクリックしてください。

Mac OS X フォルダ



「クイックセットアップツール」
アイコン



- 2 Webブラウザが起動し、ログイン画面が表示されますので、管理者パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

1. パスワードを設定した場合は
パスワードを入力

2. クリック



- 3 管理画面が表示されます。



Tips

インターネットエクスプローラからの直接起動

インターネットエクスプローラの「アドレス」欄に半角英数字で本製品の IP アドレスを入力し、その後「:5000」と入力しても管理画面にアクセスすることができます。

例 ご使用の LHD-LAN シリーズに「192.168.2.10」という IP アドレスが割り振られている場合。

入力する値

<http://192.168.2.10:5000/>

「:5000」と指定しないと、簡易 Web サーバ機能へアクセスしてしまいます。(簡易 Web サーバ機能が有効となっており、共有 Web フォルダに index.html ファイルが存在する場合)

パスワードの設定

パスワードを設定せずに初期設定を終了した場合や、設定したパスワードを変更したい場合は、管理ソフトウェアにログインし、「共有設定」メニューの「ユーザ」タブで設定します。

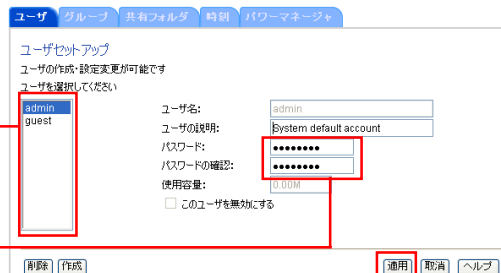
- 1 管理画面にログインし、左側のメニュー一覧から「共有設定」を選択し、「ユーザ」タブが選択されていることを確認してください。

1. 「共有設定」を選択
2. 「ユーザ」タブが選択されていることを確認



- 2 パスワードを設定したいユーザを選択後、「パスワード」「パスワードの確認」欄に設定したいパスワードを入力し、「適用」ボタンをクリックするとパスワードが設定されます。

1. ユーザーを選択
2. パスワードを設定
3. 適用をクリック



Tips

ユーザセットアップからはユーザ名・ユーザの説明の変更、ユーザの追加、登録ユーザの利用許可・禁止を設定することができます。これらの設定方法については、「設定可能な機能一覧」をご参照ください。

Adminのパスワードを変更した場合、そのパスワードを忘れて管理画面にログインすることができなくなりますのでご注意ください。

パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した12文字までで登録可能です。英字の大文字・小文字も区別されるので、気を付けてください。詳しくは設定制限表をご参照ください。

ユーザーの登録方法

ユーザーの登録は管理ソフトウェアにログインし、「共有設定」メニューの「ユーザ」タブで設定します。

- 1 管理画面にログインし、左側のメニュー一覧から「共有設定」を選択し、「ユーザ」タブが選択されていることを確認してください。

1. 「共有設定」を選択
2. 「ユーザ」タブが選択されていることを確認



- 2 画面左下の「作成」ボタンをクリックしてください。

クリック



Tips

ユーザ名には全角で7文字もしくは半角英数字と下線、マイナス、ドット、スペースを使用した15文字までで登録可能です

但しスペースはユーザ名の最初と最後には使用できません。マイナスも最初の文字としては使用できません

ユーザの説明には全角で32文字、半角で64文字まで入力できます

- 3 セットアップが始まりますので、登録したいユーザ名、そのユーザの説明、パスワードを入力し、パスワードの確認入力を行ったら、「適用」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the 'ユーザセットアップ - 作成' (User Setup - Create) form. It has four input fields: 'ユーザ名:' (User Name) with 'Kobayashi', 'ユーザの説明:' (User Description) with 'NS', 'パスワード:' (Password) with '****', and 'パスワードの確認:' (Confirm Password) with '****'. A red box highlights these four fields. A red line labeled '1. 入力' (Input) points to the fields, and another red line labeled '2. クリック' (Click) points to the '適用' (Apply) button at the bottom right.

「パスワード」および「パスワードの確認」欄には、そのユーザが本製品の共有フォルダにアクセスする際に使用するパスワードを入力します。

- 4 設定が反映され、ユーザ欄に作成したユーザ名が登録されます。

The screenshot shows the 'ユーザ' (Users) tab in the management interface. A list on the left contains 'admin', 'guest', and 'Kobayashi'. The 'admin' user is selected. To the right, the details for 'admin' are shown: 'ユーザ名:' (User Name) is 'admin', 'ユーザの説明:' (User Description) is 'System default account', 'パスワード:' (Password) is '*****', 'パスワードの確認:' (Confirm Password) is '*****', and '使用容量:' (Usage Capacity) is '7.1GB'. There is a checkbox for 'このユーザを無効にする' (Disable this user) which is unchecked. At the bottom, there are buttons for '削除' (Delete), '作成' (Create), '適用' (Apply), '取消' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help).

Tips

使用できる文字については設定制限表をご参照ください。

Windows環境よりご使用になる場合は、各クライアントパソコンでWindowsにログインする際のユーザ名とパスワードを登録する事により、本製品の共有フォルダにアクセスするときに、ユーザ名とパスワードを入力する必要がなくなります。

パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した12文字までで登録可能です。英字の大文字・小文字も区別されるので、気を付けてください。

詳しくは設定制限表をご参照ください。

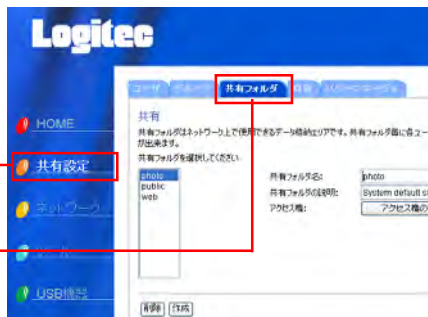
共有フォルダの作り方

新しく共有フォルダを作成する場合は管理ソフトウェアにログインし、「共有設定」メニューの「共有フォルダ」タブで設定します。
ここでは、新しく共有フォルダを作成し、そのフォルダにアクセス権を設定するまでの手順をご説明します。

1 管理画面にログインし、左側のメニュー一覧から「共有設定」を選択し、「共有フォルダ」タブを選択してください。

1. 「共有設定」を選択

2. 「共有フォルダ」タブを選択



2 ここで「作成」をクリックします。

クリック



Tips

共有フォルダは、クライアントPCからデータの保存・参照・サブフォルダの作成が可能なフォルダで、本製品のrootに作成されます。

また、それぞれの共有フォルダごとに個別のアクセス権を設定することができます。

- 3** 以下の画面が表示されますので、共有フォルダ名と共有フォルダの説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

1. 名前と説明を入力

共有 - 作成

共有フォルダ名: 開発チーム

共有フォルダの説明: 開発部員専用

適用 取消 ヘルプ

2. 「適用」ボタンをクリック

- 4** 設定が反映され、確認のメッセージが表示されたら「続行」ボタンをクリックしてください。「共有フォルダ」欄に新しい共有フォルダが追加されます。

次にアクセス権を設定します。登録された共有フォルダを選択し、「アクセス権の確認 / 変更」をクリックしてください。

1. 新しく作成された共有フォルダを選択

共有フォルダ

共有

共有フォルダはネットワーク上で使用できる共有フォルダです。共有フォルダは各ユーザーに対するアクセス権を設定することができます。

共有フォルダを選択してください

photo
public
webcam

共有フォルダ名: 開発チーム

共有フォルダの説明: 開発部員専用

アクセス権:

アクセス権の確認 / 変更

続行 取消 ヘルプ

2. 「アクセス権の確認 / 変更」をクリック

共有フォルダ名には以下の規則があります:

1. 以下の名称はシステムで使用しているため共有フォルダ名に使用できません

"global", "homes", "home", "printers", ".", "..", "usbbackup"

2. "usbshare"で始まる共有フォルダ名は作成できません

3. 共有フォルダ名は半角で32文字以内までで登録可能です

4. Windows98 からアクセスする場合は共有フォルダ名を12文字以下にする必要があります。

5. MacOS9 からアクセスする場合は共有フォルダ名を15文字以下にする必要があります

6. 以下の文字を共有フォルダ名に含ませることはできません

! " # \$ % & ' () * + , / : ; < = > ? @ [] ^ _ { } | ~

7. スペースは共有フォルダ名の最初と最後には使用できません。また、マイナス(-)は共有フォルダ名の最初の文字には使用できません

8. 共有フォルダの説明は半角で64文字、全角で32文字までで登録可能です

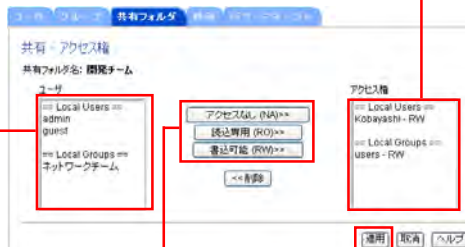
- 5** アクセス権の設定画面が表示されますので、下図を参照してアクセス権を設定後、「適用」ボタンをクリックしてください。該当のフォルダにアクセス権が設定されます。

この欄に現在の登録ユーザ及び権限が登録されます。

1. 追加したいユーザまたはグループをこの欄で選択します。

2. 選択したユーザまたはグループに与える権限に応じてボタンを選択します。

3. 必要な入力が終わったら「適用」ボタンをクリックすると設定内容が反映されます。



アクセス権の簡単な仕組みについては、次ページの図をご参照ください。

Tips

アクセスなし (NA) を選択すると、そのユーザまたはグループは、この共有フォルダにアクセスできなくなります。

読み専用 (RO) を選択すると、そのユーザまたはグループの、この共有フォルダに対するアクセス権限は読み取り専用となります。

書き可能 (RW) を選択すると、そのユーザまたはグループの、この共有フォルダに対するアクセス権限は読み書き可能となります。

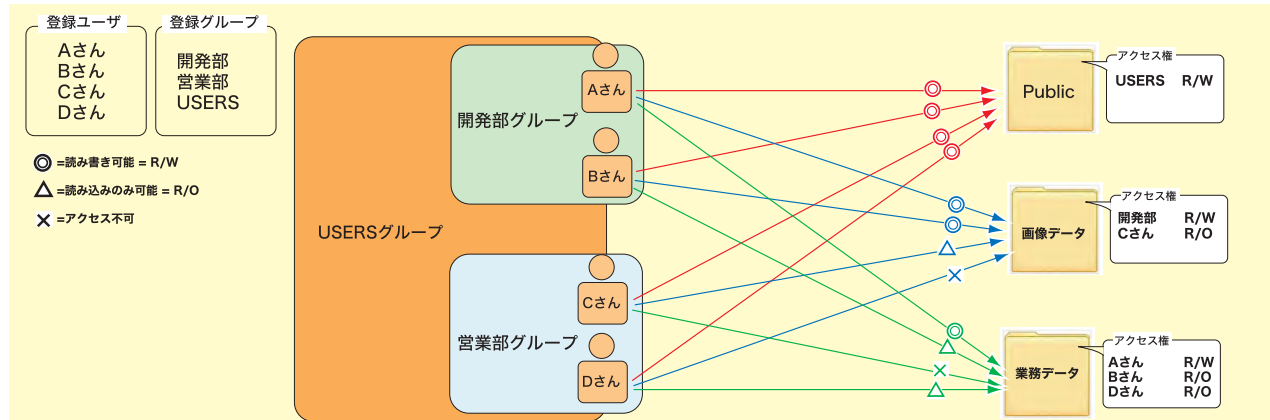
登録されているユーザまたはグループを削除したい場合は、「アクセス権」の欄でユーザまたはグループを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

アクセス権について

設定できるアクセス権はアクセスを禁止する“アクセス無し（NA）”と、読み込みのみを許可する“読取り専用（RO）”、そして読み込み、書き込み両方を許可する“読書き可能（RW）”の3種類です。

アクセス権の設定に矛盾が生じたときはNA、RO、RWの順に優先順位が設定されており、同時に2つのアクセス権を持つユーザは優先順位の高いアクセス権が設定されます。また、USB ディスク共有フォルダにはアクセス権を設定することができませんので、注意してください

アクセス権の設定例



フォトステーション機能の利用方法

システムにある photo フォルダを利用すると、お手持ちの画像を Web ブラウザでアルバムとして参照することができるようになります。

フォトステーション機能は、LHD-LANシリーズ内のデフォルト共有フォルダである、「photo」に画像や動画ファイルを保存することによって写真のサムネイル インデックスを自動的に作成し、Web ブラウザ上でフォトアルバムを閲覧することを可能にする機能です。

サポートおよび機能制限：

サポートする画像ファイル

BMP、GIF、JPG、JPEG、PNG

サポートする動画ファイル

ASF、AVI、MOV、MPG、MPEG、WMV

制限事項

画像ファイルサイズは、10 MB 以下である必要があります。

フォトステーション機能を有効にする

フォトステーション機能を有効にするには、はじめに管理画面から「フォトアルバム機能の有効にする」のチェックをONにしておく必要があります。

- 1 管理画面にログインし、「ネットワーク」 - 「サービス」タブを選択してください。



1. 「ネットワーク」を選択

2. 「サービス」タブを選択

- 2 サービスの一覧から「フォトアルバム機能の有効にする」のチェックボックスをチェックして「適用」ボタンを押してください。



1. チェック

2. クリック

Tips

フォトステーション機能は出荷時設定ではOFFになっています。

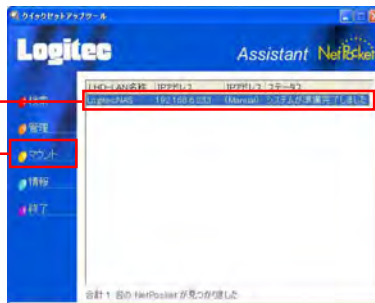
新しいアルバムを作成する

ここではクライアントに Windows XP を使用してアルバムおよび写真を作成する場合の例についてご説明します。はじめに画像ファイルまたは動画ファイルを準備しておいてください。

- 1 クイックセットアップツールを起動して、目的のLHD-LAN をクリックし、左側の「マウント」をクリックします。

1. 選択

2. クリック



- 2 ドライブマップウィザードが起動しますので、共有フォルダ名の末尾に¥photo とある共有フォルダを選択し、「次へ」をクリックしてください。

1. 共有フォルダを選択

2. 「次へ」をクリック



Tips

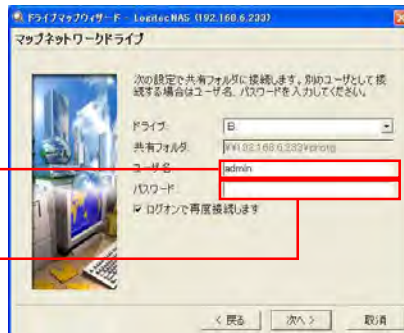
共有フォトフォルダ内にサブフォルダを作成すると、新しいアルバムが自動的に作成されます。画像ファイルまたは動画ファイルを、共有フォトフォルダ内または共有フォトフォルダ内のサブフォルダ(すなわちアルバムのこと)内に追加すると、写真または動画を Web ブラウザ上からアルバムとしてサムネイル表示することができます。

Macintosh環境では、ドライブマップウィザードは使用できません。「一般ユーザがデータエリアにアクセスする」をご参照の上、photoフォルダをデスクトップ上にマウントさせ、手順 よりご参照ください。

3 右の画面が表示されますので、ユーザ名欄にユーザ名を入力し、パスワード欄にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

1. ユーザー名を入力

2. パスワードを入力



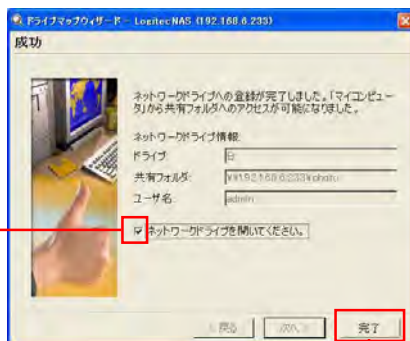
Tips

photo 共有フォルダは出荷時状態では、システム管理者 (Admin) しかアクセスする権限はありません。

4 共有のネットワークドライブへのマッピングが成功したら、「マップされたドライブを開く」のチェックボックスをクリックし、「完了」をクリックします。

1. チェック

2. クリック



- 7 新しいアルバムが作成されました。Web ブラウザ を開き、アドレス欄に以下のように入力してください。

http://LHD-LAN 名称もしくは本製品に設定した IP アドレス /photo/

ブラウザにフォトステーション画面が表示されます。



Tips

フォトステーションにリンクする際には、[photo] の後にスラッシュを入力する必要があります。

アルバムおよび写真を削除する

共有 photo フォルダを開き、その中のサブフォルダまたはファイルを削除すると、フォトステーションによってそれに対応するアルバムまたは写真が自動的に削除されます。

アルバムおよび写真を変更する

共有 photo フォルダを開き、その中のサブフォルダまたはファイルを変更すると、フォトステーションによってそれに対応するアルバムまたは写真のサムネイル画像が自動的に変更されます。

簡易 Web サーバ機能の利用方法

このサービスを有効にすると、ユーザは自分専用のウェブサイトをネットワーク内に構築することができます。

ただし、弊社では、この機能を使用したウェブサイトの外部公開はサポートしていない点にご注意ください。

簡易 Web サーバ機能を有効にする

簡易 Web サーバ機能を有効にするには、はじめに管理画面から「簡易 Web サーバ機能を有効にする」のチェックを ON にしておく必要があります。

1

管理画面にログインし、「ネットワーク」 - 「サービス」タブを選択してください。

1. 「ネットワーク」を選択

2. 「サービス」タブを選択



Tips

cgi 等の外部プログラムは未対応です

- 2 サービスの一覧から「簡易 Web サーバ機能を有効にする」のチェックボックスをチェックして「適用」ボタンを押してください。

1. チェック
2. クリック



簡易 Web サーバ機能を使用する

自分の Web ページを作成する

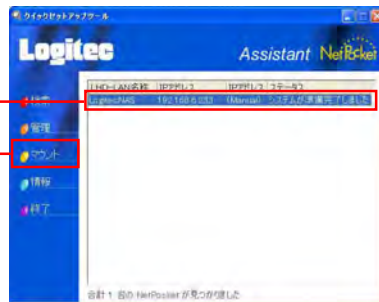
ここではクライアントに Windows XP を使用して、HTML ファイルを「web」共有フォルダに保存する事により 簡易 Web サイトを自動的に構築する手順についてご説明します。

1

クイックセットアップツールを起動して、目的の LHD-LAN をクリックし、左側の「マウント」をクリックします。

1. 選択

2. クリック

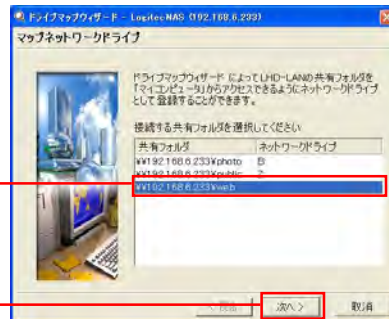


2

ドライブマップウィザードが起動しますので、共有フォルダ名の末尾にweb とある共有フォルダを選択し、「次へ」をクリックしてください。

1. 共有フォルダを選択

2. 「次へ」をクリック



Tips

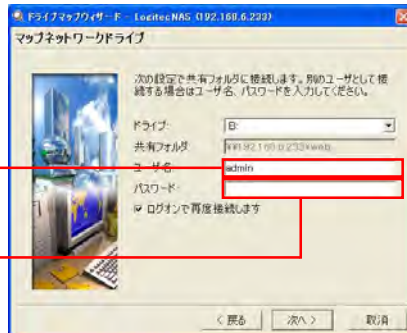
準備する HTML ファイルのトップページのファイル名には、index.html をご使用ください。

Macintosh 環境では、ドライブマップウィザードは使用できません。「一般ユーザがデータエリアにアクセスする」をご参照の上、web フォルダをデスクトップ上にマウントさせ、手順よりご参照ください。

3 右の画面が表示されますので、ユーザ名欄にユーザ名を入力し、パスワード欄にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

1. ユーザ名を入力

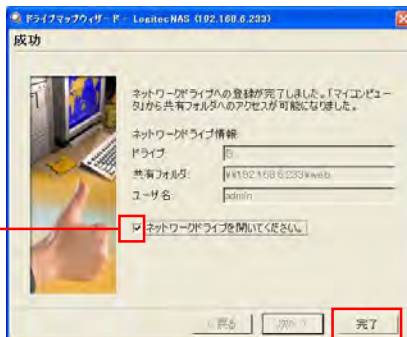
2. パスワードを入力



4 共有のネットワークドライブへのマッピングが成功したら、「マップされたドライブを開く」のチェックボックスをクリックし、「完了」をクリックします。

1. チェック

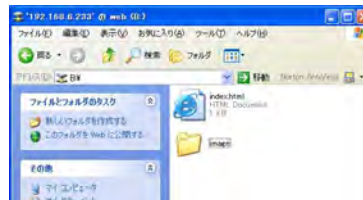
2. クリック



Tips

web 共有フォルダは出荷時状態では、システム管理者 (Admin) しか管理をする権限はありません。

- 5 index.html ファイルを ドライブマップされた「web」共有フォルダにコピーします。



- 5 新しい Web サイトが作成されました。Internet Explorer を開き、http://LHD-LAN の IP アドレス"/と入力して、自分の Web サイトを参照してください。



メディアサーバ機能について (LHD-LANGV シリーズのみ)

LHD-LANGV シリーズには、メディアサーバ機能 (デジオン社 DiXiM Media Server) が搭載されています。DLNA 対応クライアントソフトをインストールしたパソコンまたは DLNA 対応メディアプレーヤを利用して、LHD-LAN GV シリーズの専用フォルダに保存されたコンテンツファイルをネットワーク経由で再生することができます。本機能については本ユーザーズマニュアルの内容にてご確認ください。

コンテンツファイルの保存先

LHD-LANGV シリーズの「contents」共有フォルダに保存してください。このフォルダに保存されたコンテンツファイルを、DLNA 対応メディアプレーヤから参照可能です。「contents」フォルダは3階層以内でご利用ください。

注意事項

- ・ 同時に接続する DLNA 対応プレーヤは3台以内を推奨します。
- ・ ファイルコピー時や USB バックアップ時など、NAS へのアクセスがある時は、コンテンツの再生に支障をきたす場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 再生できるコンテンツフォーマットは、本製品が配信可能なファイルの種類 (次ページ参照) かつ、DLNA 対応メディアプレーヤ側の使用によります。
また、DLNA 対応メディアプレーヤ側で対応しているフォーマットでも、コーデック等の違いにより再生できない場合がありますので、ご注意ください。
- ・ コンテンツファイルを大量に格納すると LHD-LANGV 内のメモリを大量に消費し、動作が遅くなる場合があります。
- ・ DLNA 対応メディアプレーヤの操作に関してはプレーヤのマニュアルを参照してください。
- ・ DLNA 対応メディアプレーヤで LHD-LANGV にアクセス中に、パソコンより「contents」フォルダ内のファイル操作 (コピーや移動など) を行わないようにしてください。

DLNA 対応メディアプレーヤからの表示について

DLNA対応メディアプレーヤでは「contents」フォルダに保存されているファイルを階層、フォルダに関係なく表示します。コンテンツファイルを複数保存したフォルダは、階層に関係なくアルバムとして表示されます。(添付のDiXiM Media Clientでは以下のように表示されますが、メディアプレーヤによっては表示が異なる場合があります)

ビデオ

- アルバム : 映像ファイルを保存したフォルダごとに表示します。
- ジャンル : 映像ファイルをジャンルごとに表示します。
- 全てのビデオ : contentsフォルダ内の全映像ファイルを表示します。
- 出演者 : 映像ファイル出演者ごとに表示します。

フォト

- アルバム : 画像ファイルを保存したフォルダごとに表示します。
- 全てのフォト : contentsフォルダ内の全画像ファイルを表示します。

ミュージック

- アルバム : 音楽ファイルを保存したフォルダ毎に表示します。
- アーティスト : 音楽ファイルをアーティスト毎に表示します。
- ジャンル : 音楽ファイルをジャンルごとに表示します。
- プレイリスト : 本機能は本製品では未サポートです。
- 全てのミュージック : contentsフォルダ内の全音楽ファイルを表示します。

ユーザーファイル : contentsフォルダ内のファイルを表示します。

アーティスト、出演者、ジャンルによるソートは、コンテンツファイルに埋め込まれた情報 (ID3 タグなど) を利用するため、保存したコンテンツファイルに依存します。

配信可能なファイルフォーマットについて

本製品で配信可能なファイルフォーマットは以下の通りです。下記以外のファイルはDLNA対応メディアプレーヤからは認識されませんのでご注意ください。

<映像 : Video >	フォーマット	拡張子
	MPEG-1、MPEG-2 (プログラムストリーム)	*.MPG *.MPEG *.M2P
	Windows Media Video	*.WMV
	AVI (DV/Cinepack)	*.AVI
	ASF	*.ASF
DivX	*.DIVX、*.AVI	
<音楽 : Music >	フォーマット	拡張子
	MP3	*.MP3
	Windows Media Audio	*.WMA
	WAVE	*.WAV
<画像 : Photos >	フォーマット	拡張子
	JPEG	*.JPG、*.JPEG
	PNG	*.PNG
	BMP	*.BMP

USB 機器の利用方法

USB 機器を利用する場合、LHD-LAN シリーズでは以下の 4 つの機能を使用することができます。

1.USB ディスクマネージャ

LHD-LAN シリーズに USB ハードディスクを接続すると、そのディスク領域を「usbshare*」フォルダとして使用することができます。

この「usbshare*」フォルダは LHD-LAN シリーズから USB ハードディスクを取り外すと、自動的に使用できなくなります。

*には 1～3 の数字が入ります。

2.USB プリンタ

本製品に USB プリンタを接続して、ネットワークプリンタとしてクライアント間で共有することができます。

3.USB Copy

LHD-LAN シリーズの前面の USB コピーボタンを使用して USB メモリなどから LHD-LAN シリーズの任意の共有フォルダへデータをコピーすることができます。

4.USB バックアップ

LHD-LAN シリーズに内蔵のハードディスクからバックアップディスクにデータをバックアップします。スケジュールを設定した自動バックアップと手動バックアップを選択できます。

バックアップ用にフォーマットされたディスクが接続されていなければバックアップ設定を行うことができません。この機能を使用する前に、「USB 機器 -> USB ディスク」でバックアップ用ディスクを作成してください。

Tips

各機能を参照するには、以下のボタンをクリックしてください。

USB ディスクマネージャ

USB プリンタ

USB Copy

USB バックアップ

USB ディスクマネージャの使用方法

- 1 管理画面にログインし、「USB 機器」 - 「USB ディスク」タブを選択してください。



1. クリック

2. 選択

Tips

本製品に接続可能なUSBハードディスクは最大3台までとなります。USBハードディスクは直接USBポートへ接続してください。USBハブを介しての接続はできません。

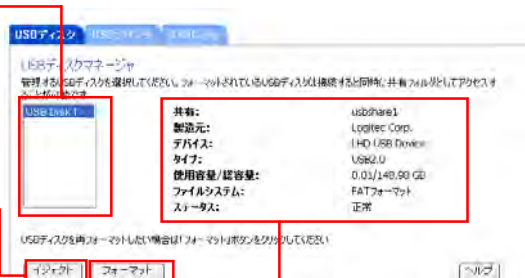
- 2** USB HDD タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。
本製品に USB ハードディスクを接続すると、そのディスク領域を「usbshare*」フォルダとして使用することができます。
この「usbshare*」フォルダは本製品から USB ハードディスクを取り外すと、自動的に使用できなくなります。

*には 1 ~ 3 の数字が入ります。

この部分には現在接続されている USB ディスクの一覧が表示されます。選択されている USB ディスクは青色で反転表示されます。

USB ディスクを本製品から取り外す前は、必ず、ディスクを選択後、「イジェクト」ボタンを押してください。

USB ディスクを、フォーマットする場合は「フォーマット」ボタンをクリックしてください。



選択されている USB ディスクの共有名、製造元、デバイス名、接続タイプ、容量、フォーマット形式、状態が表示されます。

フォーマット方法については次ページをご参照ください。

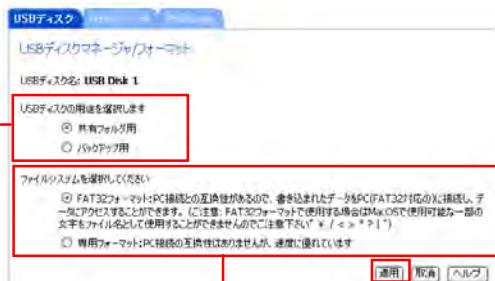
3 フォーマットボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

1. USBディスクの使用用途を選択してください。

- ・「共有フォルダ用」- データの共有のために使用します。
- ・「バックアップ」用- データのバックアップディスクとして使用します。「usbshare」フォルダは作成されません。「usbbackup」フォルダが作成され、管理者のみ読み取り専用でアクセスできます。

2. ファイルシステムを選択してください。

- ・ FAT32 フォーマット- 取り外してWindows パソコンや FAT32 形式の読み込みに対応している Macintosh マシンでも使用することができます。
- ・ 専用フォーマット - 本製品以外では読み書きできません。データの安全性が向上し、高いパフォーマンスを発揮します。



3. 「適用」ボタンをクリックしてください。フォーマットが開始されます。

Tips

バックアップ用途で使用する USB ハードディスクのフォーマットを FAT32 に設定した場合、2GB 以上のサイズのファイルはバックアップできませんので、ご注意ください。

Macintosh を利用している環境では、専用フォーマットに設定してください。FAT 32 では Macintosh で保存した一部のファイルがバックアップできない場合があります。

USB プリンタの使用方法

- 1 管理画面にログインし、「USB 機器」 - 「USB プリンタ」タブを選択してください。

The screenshot shows the Logitech management interface. On the left is a navigation menu with the following items: HOME, 共有設定, ネットワーク, ツール, and USB機器. The 'USB機器' item is highlighted with a red box. A red line connects this box to the 'USB機器' tab in the main content area, which is also highlighted with a red box. The main content area displays the 'USBプリンタ' settings for a Canon printer. It includes a table with columns for '製造元', '製品名', and 'タイプ'. Below the table are buttons for 'イジェクト' and 'クリア', and '更新' and 'ヘルプ' buttons at the bottom right.

製造元	製品名	タイプ
Canon, Inc.	IP_3100	12

1. クリック

2. 選択

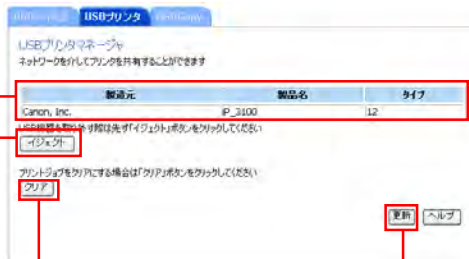
2

以下の画面が表示されます。本製品に USB プリンタを接続すると、プリンタの製造者、製品名、プリンタのタイプが表示されます。管理画面から実行・参照可能な機能は以下の通りです。

この部分に接続されているプリンタの情報が表示されます。

USB プリンタを本製品から取り外す前は、必ず、ディスクを選択後、「イジェクト」ボタンを押してください。

プリンタ内のジョブをクリアしたいときは「クリア」ボタンをクリックしてください。



最新の接続状態を確認するためには「更新」ボタンをクリックしてください。

Tips

ネットワークプリンタの設定（クライアントから USB プリンタを認識させる方法）については、以下のボタンをクリックしてください。

Windows 環境の場合

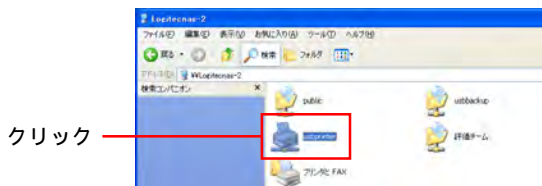
Mac OS X 環境の場合

Mac OS 9 環境の場合

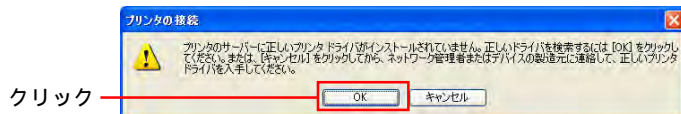
ネットワークプリンタの設定 - Windows環境の場合 -

1 ご使用のクライアントコンピュータから本製品にアクセスします。(本製品へのアクセス方法については「一般ユーザがデータエリアにアクセスする」をご参照ください。

2 「usbprinter」をダブルクリックしてください。



3 以下のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてください。



4 プリンタの追加ウィザードが表示されます。
この後はウィザードの指示に従い、適切なプリンタドライバをインストールしてご使用ください。

Tips

プリンタの追加ウィザードでは、プリンタのタイプに「ネットワークプリンタ」を選択します。

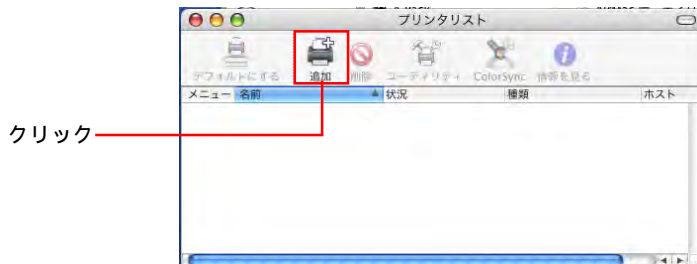
プリンタドライバは、ご使用のプリンタの製造メーカー、型番を良く確認して指定してください。

その他、ネットワークプリンタのご使用についてご不明な点は、Windowsのヘルプまたは、ご使用のプリンタの取扱説明書をご参照ください。

プリンタによっては、先にプリンタドライバをローカルデバイスとしてインストールしておく必要があります。

ネットワークプリンタの設定 - Mac OS X環境の場合 -

- 1 メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択し、アプリケーションウィンドウで、「ユーティリティ」 - 「プリンタ設定ユーティリティ」と選択し「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックして、ダイアログボックスを開いてください。
- 2 プリンタ設定ユーティリティのダイアログボックスで「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 詳細設定画面が表示されますので、このあとはプリンタのマニュアル等を参照して、必要な設定を行ってください。

Tips

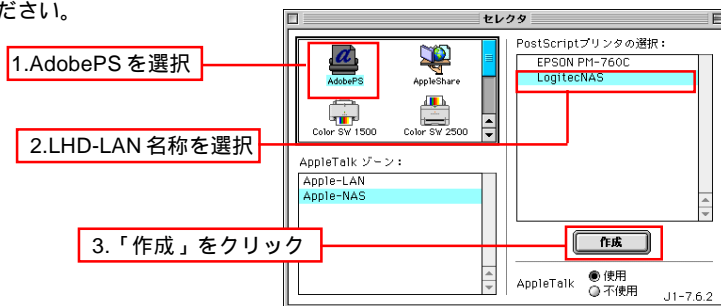
Macintosh クライアントからは Postscript プリンタ以外はネットワークプリンタとして使用できません。

ネットワークプリンタの設定 - Mac OS 9 環境の場合 -

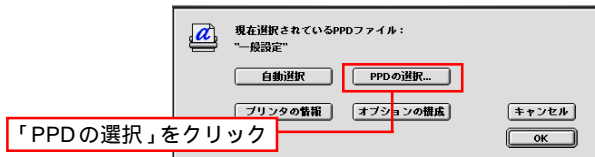
- 1 あらかじめ、Postscript プリンタのマニュアルを参照し、ご使用のコンピュータにPostscript プリンタのドライバをインストールしておいてください。

アップルメニューから「セクタ」を選択してください。

「セクタ」ウィンドウが表示されますので、左側のリストで「AdobePS」を選択し、Postscript プリンタの選択画面で、LHD-LAN の名称を選択し、「作成」ボタンをクリックしてください。



- 2 以下の画面が表示されますので、「PPDの選択」ボタンをクリックしてください。



- 3 PPD ファイルの選択画面になるので、適切なドライバを選択してください。

Tips

Macintosh クラインアントからは Postscript プリンタ以外はネットワークプリンタとして使用できません。

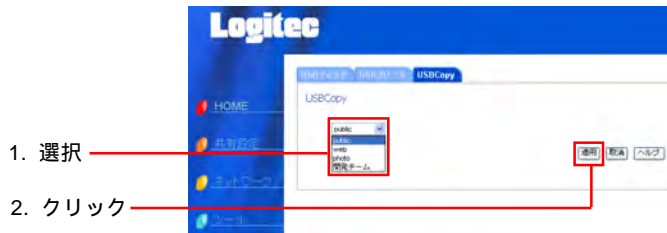
USBCopy の設定方法

この機能を使用すると、前面の USB Copy ボタンを使用して、USB メモリやデジカメなどからデータをコピーする際のコピー先の共有フォルダを指定することができます。

- 1 管理画面にログインし、「USB 機器」 - 「USBCopy」タブを選択してください。



- 2 コピー先を選択し、「適用」ボタンをクリックします。



以後、指定した共有フォルダが USB Copy ボタンを使用したコピーの際の保存場所になります。

Tips

コピー先の共有フォルダは、デフォルトの共有フォルダ以外にも指定することができます。

USB バックアップの設定方法

概要

USB バックアップの機能を使用すると、本製品内のハードディスクから USB ディスクへデータを複製することができます。バックアップは手動で行うことも、特定の時間に自動で実行するようスケジュールを組んで行うこともできます。

USB バックアップを行うには、バックアップ用にフォーマットされた USB ハードディスクが必要です。フォーマットについては、「USB ディスクマネージャ」を確認してください。

バックアップには「フルバックアップ」と「差分バックアップ」の2種類があります。

フルバックアップ

はじめに共有データ全てが USB バックアップディスクにバックアップされます。これがフルバックアップです。

差分バックアップ

その後は、変更箇所のみ同じ USB ディスクにバックアップします。これが差分バックアップです。全てのデータをバックアップするわけではないので、時間が大幅に短縮されます。

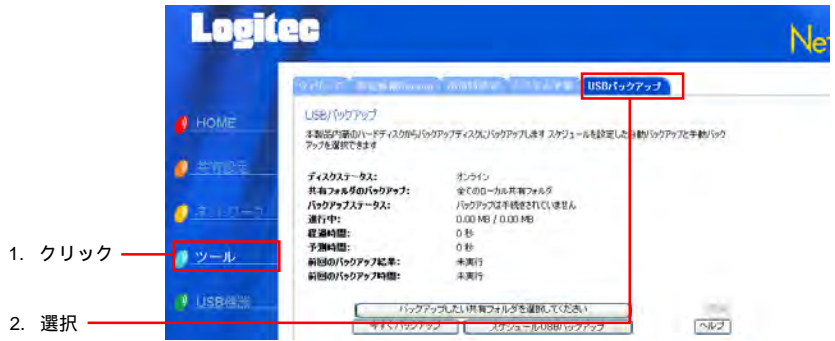
ヒント

変更箇所に該当するものは、追加・変更・削除・ファイル名やディレクトリの変更などがあります。たとえば、バックアップをした後に3つのファイルを変更したとします。差分バックアップでは、この3つのファイルのみをバックアップ対象とします。

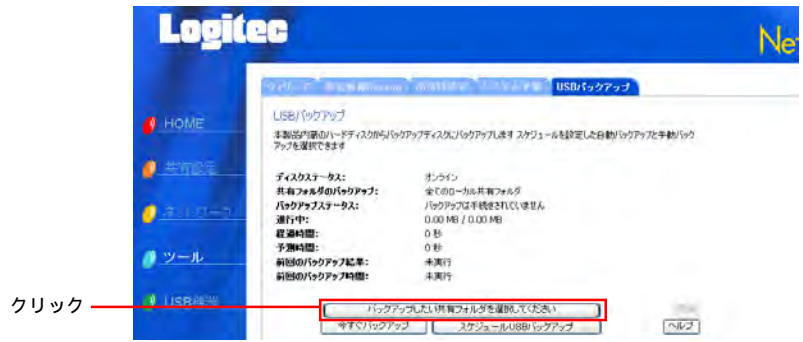
注意事項

- ・ バックアップデータは "usbbackup" 共有フォルダにバックアップされます。この共有フォルダは admin ユーザでログオンする事によりアクセス可能です (ただし、リードオンリー権限となります)。
- ・ バックアップに使用する USB ディスクは、本製品の容量より大きいものでなければなりません。
- ・ データのバックアップ中にバックアップ中の USB ディスクが取り外された場合、次のバックアップはフルバックアップとなります。
- ・ バックアップをしていない時に USB ディスクを取り外した場合、次回バックアップの開始前に接続していれば、差分バックアップとなります。
- ・ 実行中のバックアップを止めたい場合には、「キャンセル」ボタンをクリックします。途中でキャンセルをした場合、次のバックアップはフルバックアップとなります。
- ・ バックアップ先 USB ハードディスクが **FAT32 フォーマット** の場合、**2GB 以上のサイズのファイルのバックアップはできません**。ご注意ください。

1 管理画面にログインし、「ツール」 - 「USB バックアップ」タブを選択してください。



2 「バックアップ共有フォルダを選択してください」ボタンをクリックします。



Tips

LHD-LAN シリーズ内の全ての共有フォルダをバックアップする場合、この手順は飛ばして、手順 から設定を行っても構いません。

3 以下の画面が表示されます。

- ・ LHD-LANシリーズ本体内の全てのデータをバックアップする場合は「全ての共有フォルダ」を選択します。
- ・ バックアップする共有フォルダを選択する場合は、「共有フォルダを個別に選択してください」を選択し、共有フォルダの一覧から、バックアップしたい共有フォルダにチェックを入れます。

選択後、「適用」ボタンをクリックしてください。

全てをバックアップする場合

バックアップ対象を選択する場合

設定後、「適用」ボタンをクリック

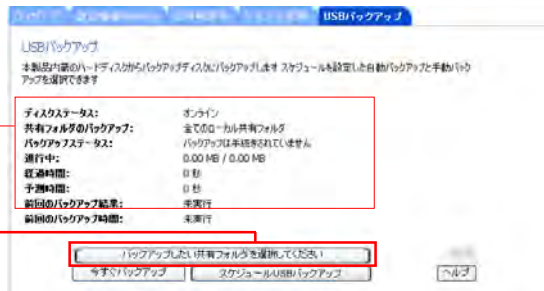


4 USB バックアップ画面に戻るので、「スケジュールバックアップ」を選択します。

参考

この部分にUSBディスク及びバックアップの情報が表示されます。

選択



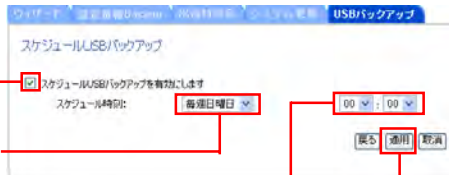
Tips

すぐにバックアップする場合は「今すぐバックアップ」ボタンをクリックします。

バックアップ中に「取消」ボタンをクリックするとバックアップが中止されます。

- 5** 以下の画面が表示されますので、説明を参考に必要な設定を行って「適用」ボタンを押してください。

1. 初めに、このチェックボックスにチェックを入れてください。
2. バックアップ間隔を設定します。バックアップ間隔は毎日および特定の曜日ごとから選択できます。
3. バックアップの開始時間を設定します。



4. 「適用」ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。バックアップは指定した時刻に開始されます。それよりも早くあらかじめバックアップを行いたい場合は、「今すぐバックアップ」ボタンから実行してください。

リストアについて

USBバックアップにてバックアップしたデータをリストアするには、まずLHD-LANの共有フォルダにadminユーザでログインします。これは、adminユーザとして認識されなければ、usbbackupフォルダにアクセスできないためです。
"usbbackup"フォルダにアクセスします。"usbbackup"内の共有フォルダ内のデータを、元の共有フォルダ内にコピーします。

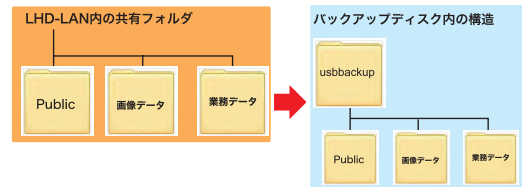
Tips

- ・ Windowsでadminユーザにてバックアップフォルダにアクセスするには、以下の方法が便利です。

アクセスしたいNASがネットワークドライブに登録されている場合は、全て削除（切断）します。
コマンドプロンプトより以下のコマンドを実行します。

```
net use Z:¥¥LHD-LANの名称¥usbbackup /user:admin
```

参考：バックアップイメージ



設定可能な機能一覧

参照したいメニューをクリックすると、そのメニューの説明画面へジャンプします。

HOME

本製品の機器情報、ネットワーク状態、システムログなどを確認することができます。

共有設定

ユーザー登録、グループの作成、共有フォルダの設定、時刻設定、本製品の電源管理の設定を行います。

ネットワーク

本製品のネットワーク上での名称、IP アドレスの設定、Windows、Macintoshの混在環境での円滑な運用のための設定、FTP/フォトステーション/簡易Webサーバの有効無効、障害発生時の電子メール通知設定を行うことができます。

ツール

ウィザードを使用して本製品の名称、パスワード、IPアドレス、時刻、プロトコル、言語といった基本的な設定を行うことができます。

USB 機器

LHD-LANのUSBポートにハードディスクやプリンタ等を接続して使用する場合に、ここで設定を行います。また、USB コピーボタンを使用してデータをコピーするときに保存先の共有フォルダを指定することもできます。



ログアウト

設定を終了する場合は、必ずこのボタンをクリックしてからブラウザを閉じてください。

ヘルプ

各設定項目に対するヘルプが参照できます。

HOME メニュー

HOME メニューは以下の4つの項目に分けられています。各項目のタブをクリックすると、その項目へジャンプします。

概要

- 本製品アクセス時にはじめに表示される画面です。基本情報のほかソフトウェアのサイトマップが表示されます。

システム情報

- 本製品のネットワーク情報、時間設定、内蔵ハードディスクの情報、接続されているUSBデバイスの情報が参照できます。

ログ

- 接続ログやシステムログ等を参照することができます。

著作権・商標

- 著作権表示および、商標について表示されます。



参照したい項目をクリックすると、その項目の説明画面へジャンプします。

HOMEメニュー : 概要

基本情報の欄では現在の本製品の基本情報が確認できます。

- ・ LHD-LAN名称(ホスト名)欄には、ネットワーク上の認識名が表示されます。
- ・ IPアドレス欄には本製品のIPアドレスが表示されます。
- ・ 空き容量には、内蔵ハードディスクの現在の空き容量が表示されます。
- ・ HDDの使用状況は、本製品内のハードディスクの総容量に対する使用状況が、パラメータで表示されます。

サイトマップの欄で、設定を行いたい項目をクリックすると、直接その項目のメニューまでジャンプします。

The screenshot shows the Logitec web interface. The left sidebar contains navigation links: HOME, 共有設定, ネットワーク, ツール, USB機器, ヘルプ, and ログアウト. The main content area is titled '概要' (Summary) and includes the following sections:

- 概要**
- 基本情報**

LHD-LAN名称(ホスト名)	LogitecNAS
IPアドレス	192.168.6.222
空き容量	148.38GB
HDDの使用状況	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: yellow;"></div>
- サイトマップ**
 - HOME ログ情報
 - システム情報, ログ, 著作権・商標
 - 共有設定 システム設定
 - ユーザ, グループ, 共有フォルダ, 時刻, パワーマネージャ
 - ネットワーク ネットワーク設定
 - LAN, Win/Mac OS, サービス, E-mail通知
 - ツール 管理ツール
 - ウィザード, 設定情報Backup, 出荷時設定, システム更新, USBバックアップ
 - USB機器 接続順序
 - USBディスク, USBプリンタ, USBCopy
 - ヘルプ 操作のコツ
 - メニュー

HOME メニュー : システム情報

システム情報タブをクリックすると、この画面が表示されます。ここでは、本製品の設定情報が詳しく表示されます。

「システムのバージョン」には、本ソフトウェアのバージョンが表示されます。

「ネットワーク設定」の欄には、本製品のMACアドレス、IPアドレスなどのネットワーク情報が表示されます。

「時刻設定」の欄には、タイムサーバを使用している場合はタイムサーバのアドレスと、選択されているタイムゾーンが表示されます。

USB 機器が接続されている場合には、「USB デバイス情報」の欄に機器の情報が表示されます。

「ハードディスク」の欄には、内蔵されているハードディスクの数、モデル、容量、使用率が表示されます。

システム情報

システムバージョン 2.0.1 - 3.0206

ネットワーク設定

MACアドレス	00-B9-98-CA-6F-B5
IPアドレス	192.168.6.222
サブネットマスク	255.255.255.0
DNSサーバ	192.168.2.1
デフォルトゲートウェイ	192.168.6.1
ワークグループ	WORKGROUP
AppleTalkゾーン	Apple-IAS
WINSサーバ	192.168.6.3

時刻設定

タイムサーバ	<未設定>
タイムゾーン	Tokyo

USB デバイス情報

ハードディスク

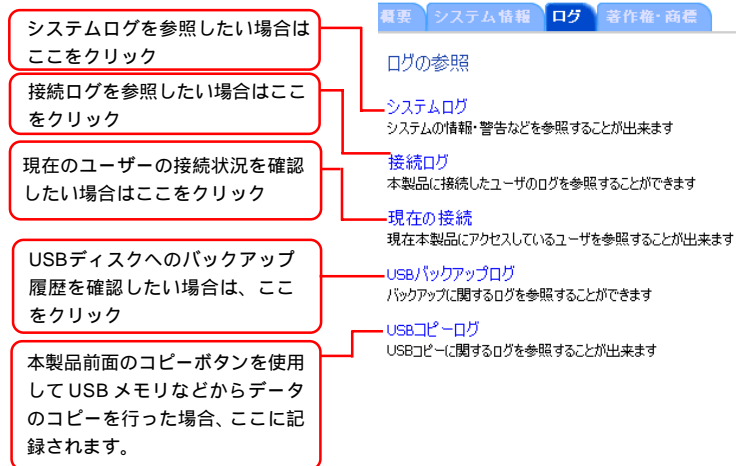
HDD搭載数	1
HDDのモデル	SAMSUNG SP1604N
総容量	148.41GB
HDDの使用状況	0.02%

使用容量: 0.03GB  空き容量: 148.38GB

ヘルプ

HOMEメニュー : ログ

ログタブをクリックすると、下の画面が表示されます。ここでは、システムログ、接続ログ、現在の接続、USBバックアップログ、USBコピーログの5つを参照することができます。



Tips

「ログ」は、製品の動作に関して弊社テクニカルサポートにお問い合わせいただいた際に、確認させていただく場合があります。

「システムログ」には、システムに関するイベント/エラーが記録されています。

「接続ログ」には、クライアントコンピュータからのアクセス履歴が記録されています。

「現在のユーザーの接続状況」には、現在本製品にアクセスしているユーザーの情報が表示されます。

「USBバックアップログ」には、USBディスクへのバックアップ履歴が記録されています。

「USBコピーログ」には、USBメモリなどからデータのコピーを行った際の履歴が記録されています。

ログ- 参照、保存方法

各ログをクリックすると、下のような画面が表示されます。ここではシステムログを例にご説明いたします。

「消去」ボタンをクリックすると、すべての記録が消去されます。

「保存」ボタンをクリックすると、ファイルの保存の警告メッセージが出たあと「名前を付けて保存」のダイアログボックスが表示されますので、任意の場所にログを保存することができます。ログの保存形式はHTML形式となります。

「最新の情報に更新」ボタンをクリックすると、最新のログ情報に更新されます。

タイプ欄にはシステムにとって正常なイベントが青いアイコンが、障害が発生した場合は赤いアイコンが表示されます。

日付・時刻の欄にはイベントが起こった日時が記録されています。

ユーザの欄には、そのイベントを行ったユーザ名が記録されています。

アクション・イベント欄にはシステムに対して行われたイベントの内容について表示されています。

The screenshot shows a web-based system log interface. At the top, there are tabs for 'システム情報' (System Information) and 'ログ' (Log), with 'ログ' selected. Below the tabs, there are three buttons: '消去' (Delete), '保存' (Save), and '最新の情報に更新' (Update latest information). The main content is a table with the following columns: 'タイプ' (Type), '日付・時刻' (Date/Time), 'ユーザ' (User), and 'アクション・イベント' (Action/Event). The table contains six rows of log entries. At the bottom right, there are two buttons: '戻る' (Back) and 'ヘルプ' (Help).

タイプ	日付・時刻	ユーザ	アクション・イベント
	2004/05/16 15:10:52	admin	Wizard Finished successfully.
	2004/05/16 15:10:51	admin	Windows file service was started.
	2004/05/16 15:10:49	admin	Windows file service was stopped.
	2004/05/16 15:10:46	admin	Apple file service was stopped.
	2004/05/16 15:10:00	admin	Admin logged in from [192.168.2.199].
	2004/05/16 15:03:35	admin	Clear [システムログ].

「戻る」ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。

HOMEメニュー : 著作権・商標

著作権・商標タブをクリックすると、下の画面が表示されます。ここでは、著作権および商標について表示されています。特に設定する項目はありません。

概要 システム情報 ログ **著作権・商標**

著作権について

ソフトウェア製品(およびソフトウェア製品に組み込まれているメディア、画像、写真、アニメ、映像、音声、文字、アプレットその他)、付属マニュアルおよびその他の文書、オンラインマニュアル、電子文書(以下「ソフトウェア製品」と総称)のすべての著作権、著作権、およびその他の知的所有権はSynology Inc.にあります。別段許諾されない限り、Synology Inc.ソフトウェア製品をご購入いただいても上記の権利を許諾されたことにはなりません。

Copyright © 2004-2005 Synology Inc. 不許複製

商標について

Synology およびSynology 製品名はSynology Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Internet ExplorerはMicrosoft Corporationの商標です。

AppleおよびMacintoshはApple Computer Inc.の商標です。

その他、記載されている製品名および会社名は各社の商標です。

共有設定メニュー:はじめに

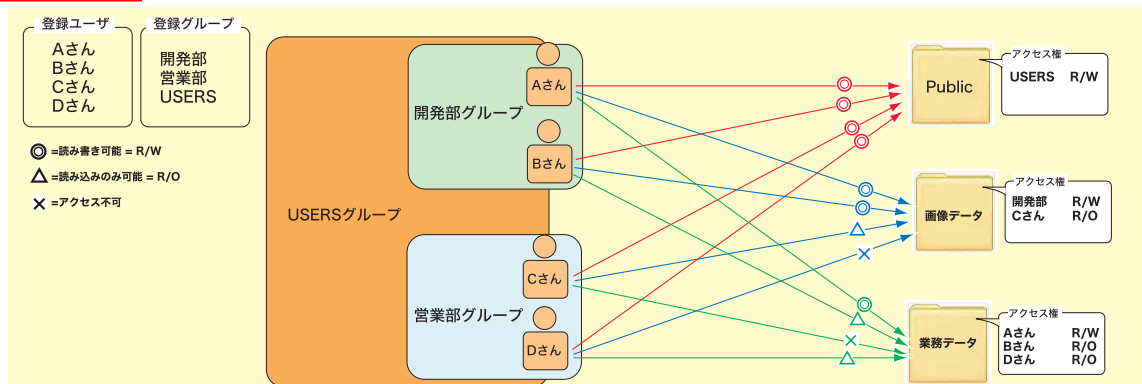
共有設定メニューでは、ユーザ、グループ、共有フォルダの設定などが行えます。

Web管理画面上では、この共有設定メニューより、各ユーザまたはグループに対して、共有フォルダごとにアクセス権を設定する事が可能です。

本製品はクライアントコンピュータのユーザ名を元に、そのコンピュータからアクセスしてくるユーザを判別します。ただし、Windows環境からアクセスする場合と、Macintosh環境からアクセスする場合で、認証過程が異なります。以下をご参照ください。

- Windowsパソコンから本製品の共有フォルダにアクセスする場合、本製品はユーザ名とパスワードをWindowsにログオンする時に使用したユーザ名とパスワードで自動的に判別します。(アクセス時にユーザ名やパスワードの入力は必要ありません)
また、Windowsパソコンにログオンしているユーザ名が本製品にはユーザとして登録されていない場合、自動的に「guest」ユーザとしてログインすることになります。ただし、「guest」ユーザが有効になっていない場合はログインできません。
- Macintoshの場合は本製品の共有フォルダにアクセスする際に入力するユーザ名、パスワードが適用されます。

参考：アクセス制限の例



共有設定メニュー : ユーザ

ユーザタブをクリックすると、下の画面が表示されます。

- この部分に選択されているユーザの情報が表示されます。
「ユーザ名」「ユーザの説明」「パスワード、パスワードの確認」の各欄の内容を変更して「適用」ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。
「使用容量」には、現在そのユーザーが使用しているデータ容量が表示されます。
「このユーザを無効にする」のチェックボックスにチェックを入れるとそのユーザは無効になります。

- この部分に現在登録されているユーザの一覧が表示されます。選択されているユーザは、青色に反転表示されます。

- 「削除」ボタンをクリックすると、選択されているユーザアカウントが削除されます。ただし、システムにデフォルトで登録されている、「admin」および「guest」は削除できません。

- 「作成」ボタンをクリックすると、新しいユーザーの作成画面に切り替わります。

ユーザ グループ 共有フォルダ 時刻 パフォーマンス

ユーザセットアップ

ユーザの作成・設定変更が可能です
ユーザを選択してください

ユーザ名:	admin
ユーザの説明:	System default account
パスワード:	●●●●●●
パスワードの確認:	●●●●●●
使用容量:	0.00M

このユーザを無効にする

削除 作成 適用 取消 ヘルプ

- ユーザ情報を書き換えたときに、設定内容を反映させる場合は「適用」ボタンをクリックします。

- ユーザ情報を書き換えたときに、設定内容を反映させたくない場合は「取消」ボタンをクリックします。

Tips

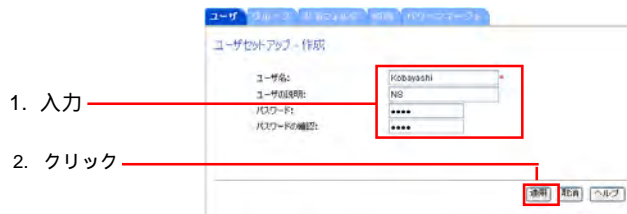
admin、guest は削除、変更できません。使用できる文字については、設定制限表をご参照ください。

ユーザの作成

- 1 新しくユーザを作成するには、画面左下の「作成」ボタンをクリックしてください。



- 2 セットアップが始まりますので、登録したいユーザ名、そのユーザの説明、パスワードを入力し、パスワードの確認入力を行ったら、「適用」ボタンをクリックしてください。



「パスワード」および「パスワードの確認」欄には、そのユーザが本製品の共有フォルダにアクセスする際に使用するパスワードを入力します。

- 3 設定が反映され、ユーザ欄に作成したユーザ名が登録されます。

Tips

ユーザ名には全角で7文字もしくは半角英数字と下線、マイナス、ドット、スペースを使用した15文字までで登録可能です

但しスペースはユーザ名の最初と最後には使用できません。マイナスも最初の文字としては使用できません

ユーザの説明には全角で32文字、半角で64文字まで入力できます

パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した12文字までで登録可能です。英字の大文字・小文字も区別されるので、気を付けてください。

使用できる文字については設定制限表をご参照ください。

Windows環境よりご使用になる場合は、各クライアントパソコンでWindowsにログインする際のユーザ名とパスワードを登録する事により、本製品の共有フォルダにアクセスするときに、ユーザ名とパスワードを入力する必要がなくなります。

共有設定メニュー : グループ

グループタブをクリックすると、下の画面が表示されます。尚、グループの追加やメンバーの変更方法については次ページ以降をご参照ください。

- この部分に選択されているグループの情報が表示されます。
「グループ名」「グループの説明」各欄の内容を変更して「適用」ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。
また、[メンバーの追加・削除]ボタンをクリックすると、メンバー欄のユーザを追加、削除することができます。

- この部分に現在登録されているグループの一覧が表示されます。選択されているグループは、青色に反転表示されます。

- 「削除」ボタンをクリックすると、選択されているグループが削除されます。ただし、システムにデフォルトで登録されている、「users」は削除できません。

- 「作成」ボタンをクリックすると、新しいグループの作成画面に切り替わります。

グループ

グループとは共通のアクセス権を設定できるユーザの集まりです
グループを選択してください

users

グループ名: users *

グループの説明: System default group

メンバー: admin, guest, Kobayashi

メンバーの追加・削除

削除 作成 適用 取消 ヘルプ

- グループ情報を変更したときに、設定内容を反映させる場合は「適用」ボタンをクリックします。

- グループ情報を変更したときに、設定内容を反映させたくない場合は「取消」ボタンをクリックします。

Tips

users は削除、変更できません。使用できる文字については、設定制限表をご参照ください。

グループの設定 - 作成

作成ボタンをクリックすると、下の画面に切り替わります。下の説明に従って、グループ名を決め、メンバーを追加して適用ボタンをクリックしてください。

1. グループ名に、設定するグループの名前を入力してください。

2. グループの説明に、そのグループの概要などを入力しておきます(任意)。

3. 「メンバー以外」のリストから設定するグループに含めるユーザーを選択してください。

4. 「追加」ボタンをクリックしてください。メンバーの欄にユーザーが移動します。

5. グループに含めるユーザーを全て追加したら、「適用」ボタンをクリックします。設定内容が反映されます。

ユーザー グループ 共有フォルダ 時刻 パワーマネージャ

グループ - 作成

グループ名: ネットワークチーム

グループの説明:

メンバー以外

admin
guest

追加 >>

<< 削除

メンバー

Kobayashi

適用 取消 ヘルプ

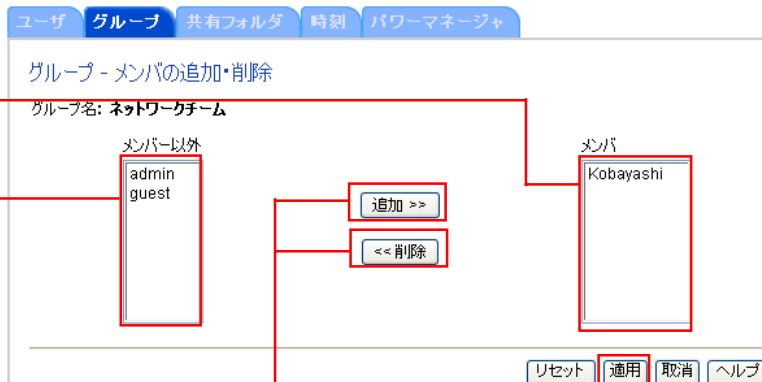
Tips

間違ったユーザをメンバーに追加してしまった場合は、「メンバー」欄で削除したいユーザを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

使用できる文字については、設定制限表をご参照ください。

グループの設定 - メンバの追加・削除

users 以外の任意のグループを選択し、「メンバの追加・削除」ボタンをクリックすると、下の画面に切り替わります。



1. 新たに追加したいメンバーがいる場合は「メンバー以外」のリストから選択します。削除したいメンバーがいる場合は「メンバ」のリストから選択します。

2. メンバーを追加したい場合は「追加」ボタンをクリックしてください。メンバーを削除したい場合は「削除」ボタンをクリックしてください。

3. 設定が終了したら、「適用」ボタンをクリックします。設定内容が反映されます。

共有設定メニュー : 共有フォルダ

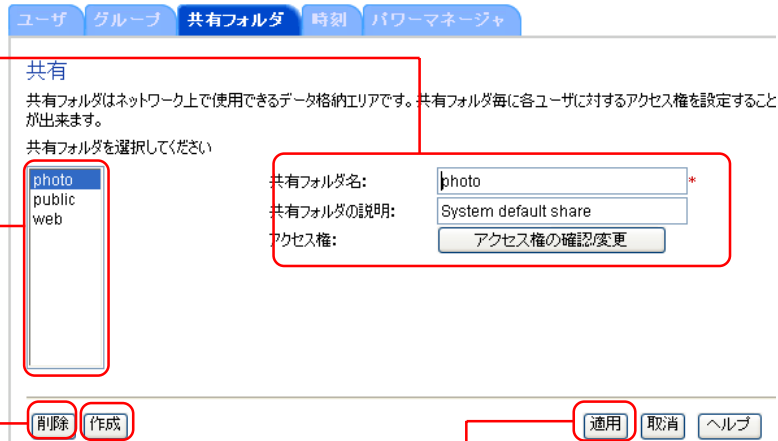
共有フォルダタブをクリックすると、下の画面が表示されます。共有フォルダは、クライアントPCからデータの保存・参照・サブフォルダの作成が可能なフォルダで、本製品のrootに作成されます。共有フォルダへは、Windowsクライアント、Macintoshクライアントどちらからでもデータの読み書きができます。設定手順については次ページ以降をご参照ください。

- ・ 現在選択されている共有フォルダの情報が表示されます。
「アクセス権」の欄の「アクセス権の確認/変更」ボタンをクリックすると、その共有フォルダを使用することができるメンバーおよび権限を編集することができます。

- ・ 現在登録されている共有フォルダが一覧表示されています。青く反転表示しているフォルダが、選択されているフォルダです。

- ・ 「削除」ボタンをクリックすると選択されているフォルダをフォルダ内のデータごと全て削除します。
ただし、システムにデフォルトで登録されている「public」というフォルダは削除できません。

- ・ 新しい共有フォルダを作成したい場合、「作成」ボタンをクリックします。



- ・ 「共有フォルダ名」および「共有フォルダの説明」を変更した場合、このボタンを押すと変更内容が反映されます。
ただし、システムにもともとある「public」というフォルダ名は変更できません。

Tips

使用できる文字については、設定制限表をご参照ください。

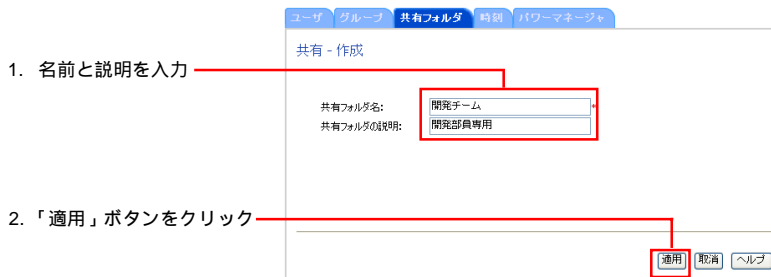
共有フォルダの作り方

ここでは、新しく共有フォルダを作成し、そのフォルダにアクセス権を設定するまでの手順をご説明します。

- 1 「共有設定」を選択し、「共有フォルダ」タブ画面内で「作成」をクリックします。



- 2 以下の画面が表示されますので、共有フォルダ名と共有フォルダの説明を入力し、「適用」ボタンをクリックします。



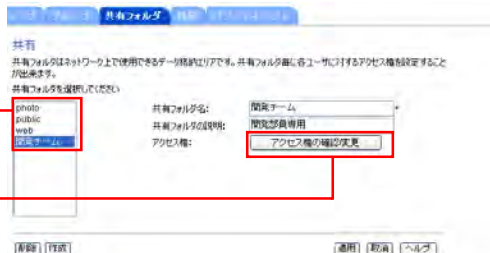
共有フォルダ名には以下の規則があります：

1. 以下の名称はシステムで使用しているため共有フォルダ名に使用できません
"global", "homes", "home", "printers", "...", "..", "usbbackup"
2. "usbshare"で始まる共有フォルダ名は作成できません
3. 共有フォルダ名は半角で32文字以内までで登録可能です
4. Windows98 からアクセスする場合は共有フォルダ名を12文字以下にする必要があります。
5. MacOS9 からアクセスする場合は共有フォルダ名を15文字以下にする必要があります
6. 以下の文字を共有フォルダ名に含ませることはできません
!"#\$%&'()*+,-/:;<=>@[\\]^`{|~
7. スペースは共有フォルダ名の最初と最後には使用できません。また、マイナス(-)は共有フォルダ名の最初の文字には使用できません
8. 共有フォルダの説明は半角で64文字、全角で32文字までで登録可能です

3

設定が反映され、確認のメッセージが表示されたら「続行」ボタンをクリックしてください。「共有フォルダ」欄に新しい共有フォルダが追加されます。次にアクセス権を設定します。登録された共有フォルダを選択し、「アクセス権の確認 / 変更」をクリックしてください。

1. 新しく作成された共有フォルダを選択
2. 「アクセス権の確認 / 変更」をクリック

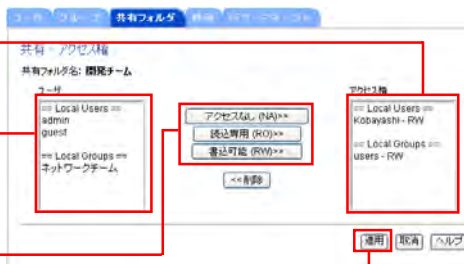


4

アクセス権の設定画面が表示されますので、下図を参照してアクセス権を設定後、「適用」ボタンをクリックしてください。該当のフォルダにアクセス権が設定されます。

この欄に現在の登録ユーザ及び権限が登録されます。

1. 追加したいユーザまたはグループをこの欄で選択します。
2. 選択したユーザまたはグループに与える権限に応じてボタンを選択します。
3. 必要な入力が終わったら「適用」ボタンをクリックすると設定内容が反映されます。



Tips

アクセスなし (NA) を選択すると、そのユーザまたはグループは、この共有フォルダにアクセスできなくなります。

読み専用 (RO) を選択すると、そのユーザまたはグループの、この共有フォルダに対するアクセス権限は読み取り専用となります。

書き可能 (RW) を選択すると、そのユーザまたはグループの、この共有フォルダに対するアクセス権限は読み書き可能となります。

登録されているユーザまたはグループを削除したい場合は、「アクセス権」の欄でユーザまたはグループを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

共有設定メニュー : 時刻

時刻タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
ここでは、本製品内の内部時刻を設定することができます。

・ この欄ではタイムゾーンを「(GMT +09 00)東京、大阪、札幌」を選択しておいでください。

・ 「タイムサーバとの同期を有効にする。」を選択した場合、その下の同期を行うまでの「同期タイミング」および「タイムサーバ」のIPアドレスもしくははホスト名を入力してください。

・ 「手動による日付・時刻の設定」を選択した場合、その下の「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定してください。

・ 設定後「適用」ボタンをクリックしてください。
設定内容が反映されます。

Tips

タイムサーバをホスト名で指定する場合、ネットワーク設定の所でDNSサーバが正しく登録されている必要があります。

共有設定メニュー : パワーマネージャ

パワーマネージャをクリックすると、下の画面が表示されます。

ここでは、電源障害によりシステムが突然シャットダウンした後、電源供給が再開されると自動的にシステムが起動するように設定できます。また、外部からのアクセスがないときに、内蔵ハードディスクをスリープモードにするまでの時間を設定することができます。

The screenshot shows the Windows 'Power Management' settings window. At the top, there are navigation tabs: 'ユーザー', 'グループ', '共有フォルダ', '時刻', and 'パワーマネージャ'. The main title is 'パワーマネージャ'. Under the '電源復旧' (Power restoration) section, there is a checkbox labeled '電源復旧機能を有効にする' (Turn on power restoration) which is checked. Below that is the 'HDDスリープ' (HDD sleep) section, with a description: '省電力のため、ハードディスクが設定された時間アイドルを続けるとスリープモードに入ります' (To save power, the hard disk enters sleep mode after the set idle time). The 'アイドルの時間:' (Idle time) is set to '20 分間' (20 minutes) via a dropdown menu. At the bottom right, there are three buttons: '適用' (Apply), '取消' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help). Three red callout boxes with white text and red borders provide instructions: 1. Points to the '電源復旧機能を有効にする' checkbox. 2. Points to the '20 分間' dropdown menu. 3. Points to the '適用' button.

1. 電源復旧機能を有効にする場合はこのチェックボックスにチェックを入れます。

2. この欄でハードディスクがスリープモードに入るまでの時間を設定します。

3. 設定後「適用」ボタンをクリックしてください。
設定内容が反映されます。

ネットワークメニュー

ネットワークメニューは以下の4つの項目に分けられています。各項目のタブをクリックすると、その項目へジャンプします。

LAN

- ・ 本製品のネットワーク上での認識名および、LANの設定を行うことができます。

Win/Mac OS

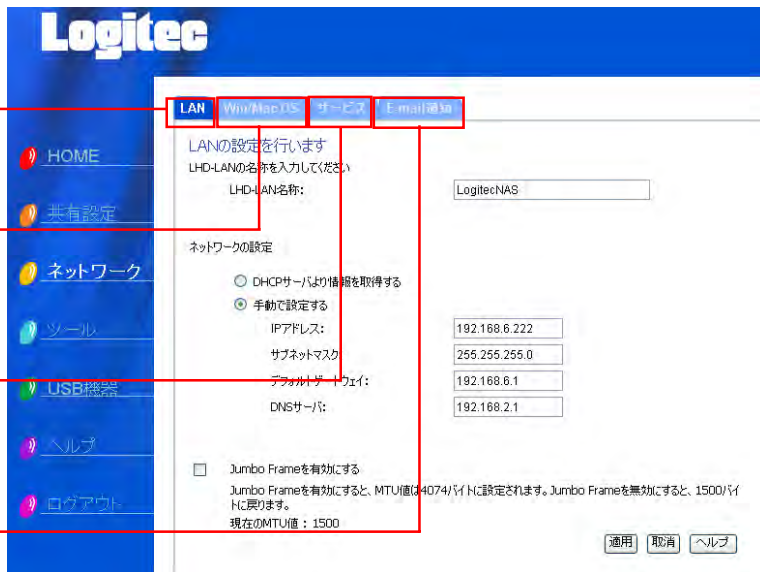
- ・ Windows および Macintosh ユーザーが正しい形で本製品にアクセスするためのネットワーク設定を行います。

サービス

- ・ FTP 設定、フォトアルバム機能、簡易 Web サーバ機能の有効/無効を切り替えます。

E-mail 通知

- ・ システムに障害が発生した場合に、通知を行うメールアドレスを設定することができます。



参照したい項目をクリックすると、その項目の説明画面へジャンプします。

ネットワークメニュー : LAN

LANタブをクリックすると、下の画面が表示されます。

- ・ LHD-LAN 名称を変更する場合は、この欄に新しい名前を入力します。

- ・ IPアドレスやサブネットマスクの設定を行います。

ネットワーク内に DHCP サーバがある場合には「DHCPサーバより情報を取得する。」を選択してください。

ネットワーク内に DHCP サーバがないか、IP アドレスなどを固定して運用する必要がある場合は「手で設定する」を選択し、その下の「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「DNS サーバ」の各欄に必要な値を入力してください。

- ・ Jumbo Frameを有効にする場合は、このチェックボックスをチェック（LHD-LANG/GE/GV シリーズのみ）

- ・ 設定後「適用」ボタンをクリックしてください。設定内容が反映されます。

The screenshot shows the LAN configuration interface. At the top, there's a tab labeled 'LAN'. Below it, a section titled 'LANの設定を行います' (Configure LAN) contains a label 'LHD-LANの名称を入力してください' (Enter LHD-LAN name) and a text input field containing 'LogitecNAS'. Below this is a section 'ネットワークの設定' (Network Settings). It has two radio buttons: 'DHCPサーバより情報を取得する' (Get info from DHCP server) and '手で設定する' (Manual configuration). The 'Manual configuration' option is selected. Underneath are four input fields: 'IPアドレス' (192.168.0.222), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), 'デフォルトゲートウェイ' (192.168.0.1), and 'DNSサーバ' (192.168.2.1). Below these is a checkbox labeled 'Jumbo Frameを有効にする' (Enable Jumbo Frame), which is checked. A note below the checkbox says: 'Jumbo Frameを有効にすると、MTU値は4074バイトに設定されます。Jumbo Frameを無効にすると、1500バイトに戻ります。現在のMTU値: 1500'. At the bottom right, there are three buttons: '適用' (Apply), '取消' (Cancel), and 'ヘルプ' (Help).

Tips

IPアドレス等の値を手動で入力する場合、設定に必要な値は環境により大きく異なります。分からない場合は、ネットワークを運用している管理者にお問い合わせください。

使用できる文字については、設定制限表をご参照ください。

「Jumbo Frame を有効にする」のチェックボックスは 1000BASE-T に対応している、LHD-LANG シリーズのみ表示されます。この機能を利用すると、最大パケットサイズが 4074 バイトになり、大容量データの高速転送を行うときに有効です。

ネットワークメニュー : Win/Mac OS

Win/Mac OS タブをクリックすると、下の画面が表示されます。

- 本製品が属するワークグループ名および WINS サーバの IP アドレスを入力してください。

- AppleTalk ゾーンを選択してください。

- コードページを設定してください。
「Japanese SJIS (Code Page 932)」以外は選択しないでください。

- 設定後「適用」ボタンをクリックしてください。
設定内容が反映されます。

The screenshot shows the 'Win/Mac OS' settings window. At the top, there are tabs for 'LAN', 'Win/Mac OS', 'サービス', and 'E-mail通知'. Below the tabs, the title is 'Win/Mac OS' and there is a warning message: 'Windows・Mac OSユーザーはここで設定された内容で本製品(Logitec NetPocket)にアクセスすることが可能です。適切な設定が行われていない場合はユーザーが本製品にアクセスすることが出来ません。' The settings are organized into three sections: 'Windowsネットワーク' with fields for 'ワークグループ:' (containing 'WORKGROUP') and 'WINSサーバ:'; 'Appleネットワーク' with a dropdown for 'AppleTalkゾーン:' (set to 'Apple-NAS (デフォルト)'); and '文字コードの設定' with a dropdown for '文字コード:' (set to 'Japanese SJIS (Code Page 932)'). At the bottom right, there are three buttons: '適用', '取消', and 'ヘルプ'. Red boxes and lines connect the instructional text on the left to these specific elements in the screenshot.

ネットワークメニュー : サービス

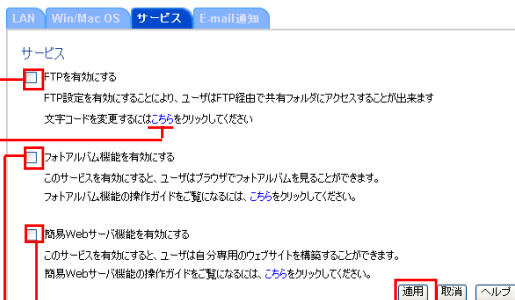
サービスタブをクリックすると、下の画面が表示されます。

FTPサービスを有効にする場合は、このチェックボックスにチェックを入れます。

ここをクリックすると、「Win/Mac」の設定画面に移動します。
ただし、文字コードは「Japanese SJIS (CodePage 932)」以外は選択しないでください。

フォトアルバム機能を有効にする場合はこのチェックボックスにチェックを入れてください。

簡易Webサーバ機能を有効にする場合はこのチェックボックスにチェックを入れてください。



設定後「適用」ボタンをクリックしてください。設定内容が反映されます。

重要なご注意!!

いずれのサービスについても、セキュリティの関係上、ルータを超えた転送を行う使用方法については未サポートとなります。

ネットワークメニュー : E-mail 通知

E-mail 通知タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
ここでは製品にイベントが発生した時に内容を通ずる電子メールの送信先を指定します。

・ SMTP サーバ (メールサーバ) のアドレスまたはドメイン名を入力します。

・ 通知用のメールアドレスは 2 つ設定ができます。必要に応じて設定してください。

・ このチェックボックスにチェックを入れると、設定後にテストメールが届きます。

E-mail 通知
本製品はシステムの各種イベントを指定したE-mailアドレスに通知することができます

SMTPサーバ:

E-mailアドレス1:

E-mailアドレス2:

テストメールを送る

・ 設定後「適用」ボタンをクリックしてください。設定内容が反映されます。

Tips

SMTP サーバは IP アドレスまたはドメイン名で指定できます。ドメイン名で指定している場合はネットワーク設定の欄で DNS サーバが正しく指定されていることをご確認ください。

SMTP サーバをホスト名で登録する場合は、ネットワーク設定の所で DNS サーバが正しく登録されている必要があります。

ツールメニュー

ツールメニューは以下の5つの項目に分けられています。各項目のタブをクリックすると、その項目へジャンプします。

ウィザード

- ・ 本製品の基本設定をウィザード形式で再度行うことができます。

設定情報 Backup

- ・ システム設定のバックアップとリストアを行うことができます。

出荷時設定

- ・ ここでは全ての設定を出荷時状態に戻すか、システム設定以外を出荷時状態に戻すことができます。いずれのオプションを選択した場合も、製品内に保存されていたデータは全て消去されますのでご注意ください。

システム更新

- ・ 本製品のファームウェアが最新のものにアップデートされた場合、ここから適用することができます。

USB バックアップ

- ・ USB ディスクを接続している場合に、製品内のデータを、USB ディスクにバックアップすることができます。

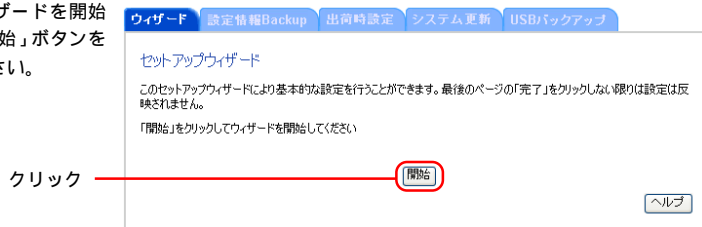


参照したい項目をクリックすると、その項目の説明画面へジャンプします。

ツールメニュー : ウィザード

ウィザードタブをクリックすると、下の画面が表示されます。
ここでは、本製品の基本設定をウィザード形式で行うことができます。
ウィザードは最後まで進み「完了」ボタンをクリックしなければ設定内容は反映されません。

- 1 セットアップウィザードを開始するには、まず「開始」ボタンをクリックしてください。



- 2 セットアップウィザードが起動します。
ここではホスト名、パスワードを変更することができます。

必要な設定が終わったら「次へ」をクリックしてください。

1. LHD-LAN 名称、パスワードを設定

2. 「次へ」をクリック



Tips

複数のLogitecNAS製品を導入される場合、区別をつけるためにデフォルトのサーバ名 (LogitecNAS) を変更してください。サーバ名が重複すると正常に動作しません。

管理者パスワードを忘れると、再度システムを設定し直すことができなくなります。決して忘れないように管理してください。忘れた場合、弊社でもサポートいたしかねます。

- 3 ネットワークの設定画面が表示されます。ご使用のネットワークにDHCPサーバがない場合は、IPアドレス、サブネットマスク等の欄にネットワーク環境に応じた値を入力し、「次へ」をクリックしてください。

DHCPサーバがある場合

DHCPサーバがない場合は、この部分にネットワーク構成に応じた値を入力

「次へ」をクリック

IPアドレス:	192.168.8.222
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.8.1
DHCPサーバ:	192.168.2.1

- 4 日付と時刻の設定画面が表示されます

- ・ タイムゾーンの下のカラードラッグメニューから「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」を選択してください。
- ・ 「手動による日付、時刻の設定」の欄で、日付と時刻を指定してください。

必要な設定が終わったら「次へ」をクリックしてください。

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」を選択

日付と時刻を指定

「次へ」をクリック

日: 2005 月: 09 日: 01
時: 16 分: 00 秒: 42

Tips

固定で設定する場合、[IP アドレス] [サブネットマスク] は必須項目ですので必ず入力してください。

入力する値はネットワークの形態や設定により大きく異なります。この値がわからない場合は、そのネットワーク管理者にご相談ください。

Tips

タイムサーバを参照して時刻合わせを行いたい場合は、セットアップウィザード終了後に、「共有設定」メニューの「時刻」を選択して設定することができます。

- 5** Windowsのワークグループ、Apple Talk ゾーン、コードページの設定画面が表示されます。
本製品が参加するワークグループ名、Apple Talk ゾーン、コードページを指定してください。
設定が終わったら「完了」ボタンをクリックしてください。



- 6** 確認のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



- 7** 設定が反映され、新しい設定情報が表示されます。内容を確認し「続行」ボタンをクリックしてください。HOMEメニューの概要へ移動します。

Tips

ワークグループとは、同一 LAN 内の Windows パソコン同士がネットワークを共有する際に、他のパソコンを参照しやすいように設定するグループのことです。デフォルトでは「WORKGROUP」を入力されています。

Apple Talk ゾーンとは、Apple Talk でネットワーク上のパソコンやプリンタが分類されているグループのことです。デフォルトでは、「Apple-NAS (default)」と入力されています。ネットワーク内に AppleTalk のゾーン設定がなされていない場合は「利用可能なゾーンはありません」と表示されますが、問題ありませんので、その他の設定を行った後「完了」ボタンをクリックしてください。

言語コードページとは、本製品内の OS 上で使用する言語のページのことです。「Japanese SJIS (Code Page 932)」以外は選択しないでください。

「Japanese SJIS (Code Page 932)」以外の設定は未サポートですのでご注意ください。

ツールメニュー : 設定情報 Backup

設定情報 Backup タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
ここでは、システム設定のバックアップと復元の方法についてご説明します。

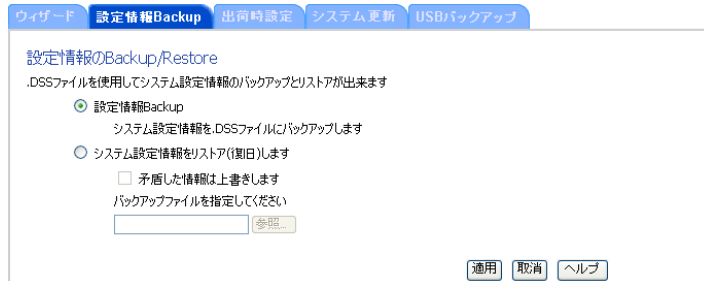
バックアップ・復元される項目について

以下の項目が、バックアップ・復元されます。

LHD-LAN名称(ホスト名)
E-mail通知設定
共有フォルダ情報
ユーザー情報
グループ情報
Windowsワークグループ
WINSサーバ
FTP設定
HDスリープ設定

以下の項目はバックアップ・復元されません。

管理者パスワード
IPアドレス
サブネットマスク
DNSサーバ
デフォルトゲートウェイ
日付・日時設定

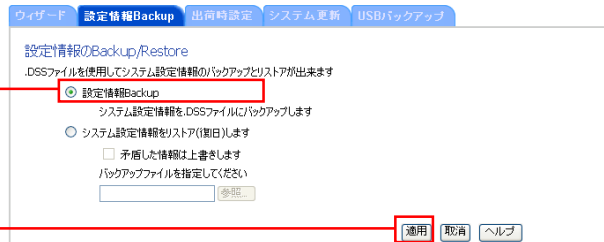


バックアップ手順、復元手順については次ページ以降をご参照ください。

バックアップ手順

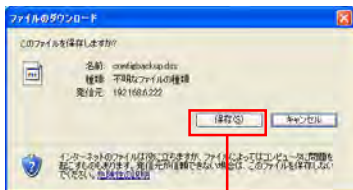
- 1 右の画面で「設定情報Backup」を選択して「適用」ボタンをクリックしてください。

1. 選択



2. クリック

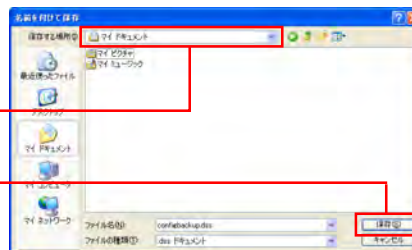
2



クリック

「ファイルのダウンロード」のダイアログボックスが表示された場合は「保存」をクリックしてください。

3



1. 場所を指定

2. 「保存」をクリック

「名前を付けて保存」のダイアログボックスが表示されます。バックアップファイルを任意の場所に保存してください。
ダウンロードが完了すれば、バックアップは終了です。

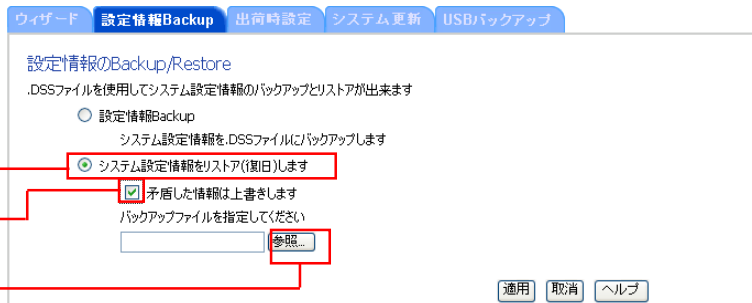
Mac ユーザーへの補足事項

Macintosh 環境ではファイルを保存するときにファイル名や保存場所を選ぶことができません。これらを変更したい場合は、いったん保存した後にダウンロードマネージャ内で行ってください。

復元手順

1

- 「システム設定の復元」を選択してください。
- 「矛盾した情報は上書きします」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 「参照」ボタンをクリックしてください。

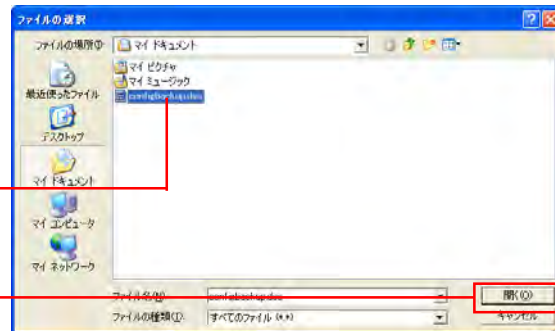


2

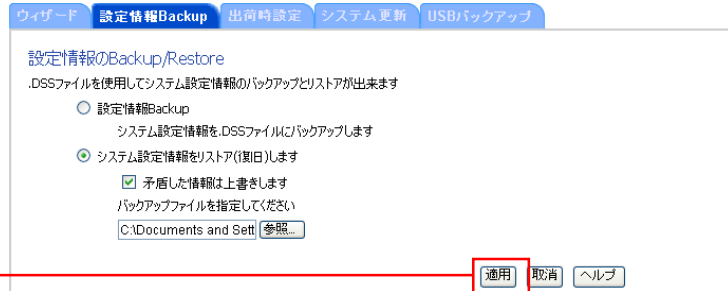
- 「ファイルの選択」のダイアログボックスが表示されるので、バックアップしたファイルを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。

1. バックアップファイルを指定

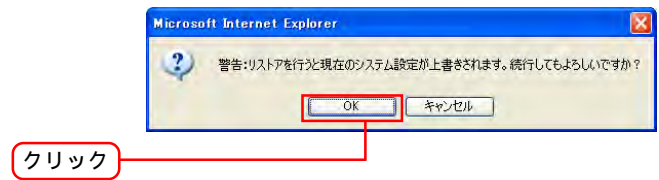
2. 「開く」をクリック



3 「適用」ボタンをクリックしてください。



4 警告メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。
復元が実行されます。

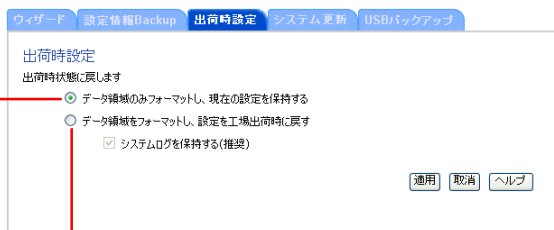


ツールメニュー : 出荷時設定

出荷時設定タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
ここでは製品内のハードディスク及びシステム情報のフォーマットを行うことができます。

「データ領域のみフォーマットし、現在の設定を保持する」を選択して、「適用」ボタンをクリックすると、ユーザのデータおよび共有フォルダを消去します。システム情報は消去されません。

「データ領域をフォーマットし、設定を工場出荷時に戻す」を選択して、「適用」ボタンをクリックすると、ユーザのデータおよび共有フォルダ、システム情報を消去します。フォーマット後も以前のログを確認できるよう「システムログを保持する」のチェックボックスにチェックを入れておくことをお勧めします。



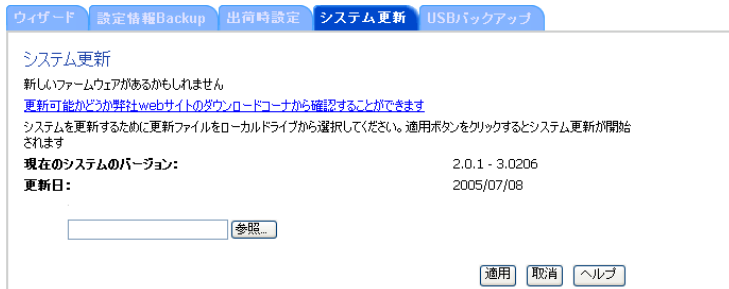
警告

フォーマットを実行すると、ハードディスクドライブに保存されていたデータは全て消去され、復元不可能な状態になります。実行する前にデータが全て消去されても構わないことを必ずご確認ください。

ツールメニュー : システム更新

システム更新タブをクリックすると、下の画面が表示されます。
本製品のファームウェアがアップデートされた場合、ここで更新することができます。
ファームウェアのアップデート情報は弊社ホームページよりご確認ください。

<http://www.logitech.co.jp/>



Tips

システムの更新に失敗した場合は以下の理由が考えられます

- システム更新作業が停電などの理由で中断された場合
- 更新ファイルが現状のシステムバージョンより新しくない場合
- 更新ファイルが壊れている場合
- システム更新のために必要な空き容量が足りない場合

上記問題を解決した後に再度システム更新を試みてください。また、それでもシステムが更新されない場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください

ツールメニュー : USB バックアップ

USB バックアップの機能を使用すると、本製品内のハードディスクから USB ディスクへデータを複製することができます。バックアップは手動で行うことも、特定の時間に自動で実行するようスケジュールを組んで行うこともできます。

USB バックアップを行うには、バックアップ用にフォーマットされた USB ハードディスクが必要です。フォーマットについては、「USB ディスクマネージャ」を確認してください。

USB バックアップの具体的な手順については「管理ソフトウェアの使い方」 - 「USB 機器の利用方法」に記してありますので、そちらをご参照ください。

USB 機器メニュー

USB ポート機器メニューではUSBハードディスクとUSBプリンタに関する設定および、LHD-LANの前面のコピーボタンを使用してUSBコピー機能を実行する際のコピー先の共有フォルダの指定を行うことができます。

USB ディスク

- ・ 外付けUSBディスクの設定を行います。

USB プリンタ

- ・ USBプリンタの設定を行います。

USB Copy

- ・ LHD-LANの前面のコピーボタンを使用してUSBコピー機能を実行する際のコピー先の共有フォルダの指定を行います。



これらの設定の具体的な手順については「管理ソフトウェアの使い方」 - 「USB機器の利用方法」に記してありますので、そちらをご参照ください。

ハードウェアリファレンス

ここでは、初めて LHD-LANE/G シリーズの機器の概要、使用環境、設置等についてご説明します。参照したいトピックをクリックしてください。

製品の概要

使用環境について

各部の名称と機能

装置の設置と使い方

USB 機器の使用について

ハードウェア仕様

製品の概要

LHD-LAN シリーズは、LAN 上でさまざまなプラットフォーム間のファイル共有が可能なネットワークストレージユニットです。製品内のファイルやフォルダにはユーザーやグループごとにアクセス制限をかけることができるのでセキュリティ上も安心してお使いになることができます。また、USBポートを前面に1つ背面に2つ搭載していますので、このポートを使用してUSBプリンタや外付けUSBハードディスクを増設し、ユーザーはネットワーク上で共有することができます。また、管理・設定はWebブラウザから容易に行うことができます。

本製品の特徴

ネットワークを介して、データ保存エリアを共有できます。また、アクセス権を設定することによりユーザ毎の管理も可能です。

保存した画像や動画をWebブラウザ上からサムネイルインデックスで確認できるフォトステーション機能、ご自身で作成したhtmlファイルをネットワーク内で閲覧できる簡易Webサーバ機能を搭載しています。

本体前面のコピーボタンを使用してUSBメモリから本製品へデータのコピーが簡単にできます。

障害やイベントの発生をE-mailで通知する機能を搭載していますので、ネットワークに障害が発生した場合の警告などを通知することができます。万一の障害発生時にも素早く対応ができます。

全ての設定はクライアントパソコンのインターネットエクスプローラ上からおこなえます。また、ネットワークストレージ(NAS)として必要最低限の設定のみに特化しているので、サーバの知識が無くても簡単に設定可能です。

バックアップ機能について

本製品には、本体内のデータを外付けUSBハードディスクにバックアップすることができるUSBバックアップ機能を搭載しています。バックアップは、ネットワーク接続時に、Webブラウザの管理ツールより設定します。なお、バックアップ機能を有効にするには、本製品のハードディスク容量と同等以上のUSBハードディスクが必要です。

また、ストレージマネージャ上では、使用言語、通知用メールアドレス、共有フォルダ、ユーザ情報、グループ情報などのシステム設定のバックアップを行うこともできます。

管理画面上でのバックアップ方法については「管理ソフトウェアの使い方」 - 「USB機器の利用方法」をご参照ください。

使用環境について

本製品は以下の環境でご使用ください。OS はいずれも日本語のものに限ります。また、使用するパソコンは LAN 環境に接続されていることが必要です。

ストレージマネージャ（管理画面）対応ブラウザ

Internet Explorer 6.0 以降（Mac OS の場合、Internet Explorer 5.2 以降）

Java スクリプトを実行可能な環境に限ります。

クライアント環境

初期セットアップが可能な OS

Windows XP Home Edition/ Professional、
Windows 2000 Professional Service Pack 1 以降

Windows Me、

Windows 98 Second Edition

Mac OS X 10.2 以降、

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで（ ）

Mac OS Runtime for Java（MRJ）をインストールしておく必要があります。

通常のクライアントとしてアクセス可能な OS

Windows XP Home Edition/ Professional、
Windows 2000 Professional Service Pack 1 以降、

Windows Me、

Windows 98（Second Edition 含む）

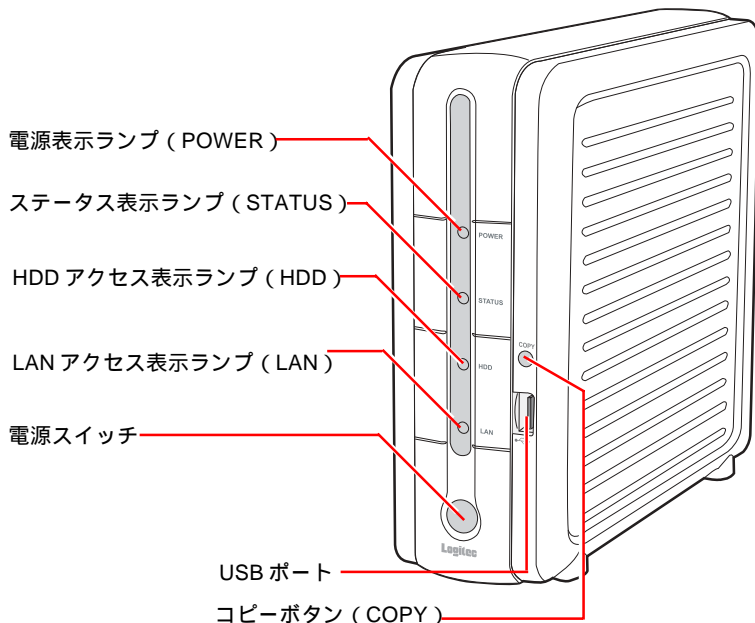
Windows NT 4.0 Workstation Service Pack 6 以降

Mac OS X 10.0.4 以降、

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで

各部の名称と機能

本製品前面



電源表示ランプ (POWER)

本製品の電源がONになると点灯します。

ステータス表示ランプ (STATUS)

本製品の内蔵ハードディスクの状態をあらわします。緑色に点灯している場合は正常に動作しています。オレンジ色に点灯している場合は、空き容量が残りわずか(25%~10%)であることをあらわします。オレンジ色に点滅している場合は空き容量が10%以下になっているか、ハードディスクにエラーが発生しています。

HDD アクセス表示ランプ (HDD)

本製品の内蔵ハードディスクに対し、アクセスが行われると点灯します。

LAN アクセス表示ランプ (LAN)

ネットワークに接続されると点灯し、トラフィックがあると点滅します。

電源スイッチ

本製品の電源をON/OFFします。

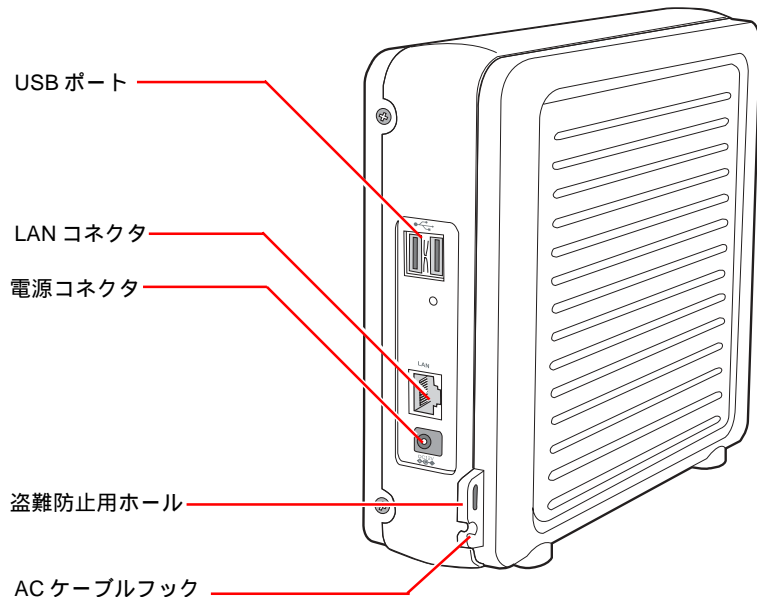
前面 USB ポート

USB プリンタや USB 接続タイプのストレージ機器を接続します。USB メモリコピー機能を使用する場合は、この前面 USB ポートに USB 接続タイプのストレージを接続します。

コピーボタン

USB メモリコピー機能を実行するときに押します。このボタンはランプも兼ねており、ランプの点灯・点滅状態で、コピー準備OK、コピー中、コピー完了などがわかります。

本製品背面



背面 USB ポート (× 2)

USBプリンタやUSB接続タイプのストレージ機器を接続します。このポートに接続したUSB接続タイプのストレージにはUSBメモリコピー機能は使用できません。

LAN コネクタ

UTPケーブルでEthernetハブに接続します。

電源コネクタ

付属のACアダプタを使用してAC100Vのコンセントに接続します。

盗難防止用ホール

盗難防止のために2.0 程度のワイヤを取り付けることができます。

AC アダプタケーブルフック

ACアダプタのケーブル抜け防止のために、ケーブルをこのフックにはめ込んでください。

装置の設置と使い方

設置上の注意

設置場所

本製品の設置条件は以下の通りです。

項目	動作時	非動作時
温度	+ 10 ~ + 35	- 20 ~ + 50
相対湿度	20 % ~ 80 %	20 % ~ 80 %
塵埃	一般事務室条件を許容	

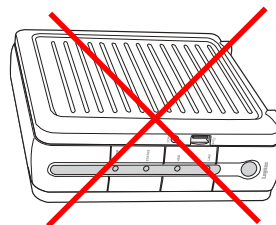
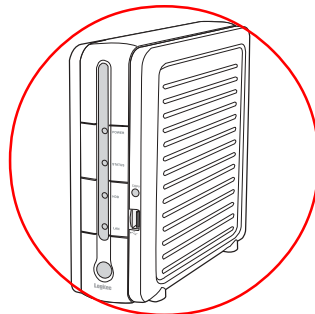
ただし結露なきこと

次のような場所には設置しないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温湿度変化の激しい場所
- ・電氣的ノイズを発生する機器の近く(モーターの近くなど)
- ・強磁界を発生する機器の近く(ラジオなど)
- ・ごみ、ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)や塩分を多量に含む空気が発生する場所
- ・周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所
- ・不安定な場所

設置時の注意

本製品は縦置きで使用することを前提に設計されています。横に倒して使用しないようご注意ください。



横置きで設置してはいけません!!

接続図とチェックポイント

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

付属の AC アダプタを使用して、本製品の電源コネクタと AC100V のコンセントを接続します。この際、アースをとってください。また、AC アダプタのケーブルは、引き抜け防止のため AC ケーブルフックに掛けておいてください。

UTP ケーブルを使用して、本製品の LAN コネクタと Ethernet ハブを接続します。

本製品の LAN コネクタは AutoMDI/MDI-X に対応していますので、ストレートケーブル、クロスケーブルどちらでも接続可能です。

USB プリンタや USB ストレージデバイスを接続する場合もこのときに接続しておきます。

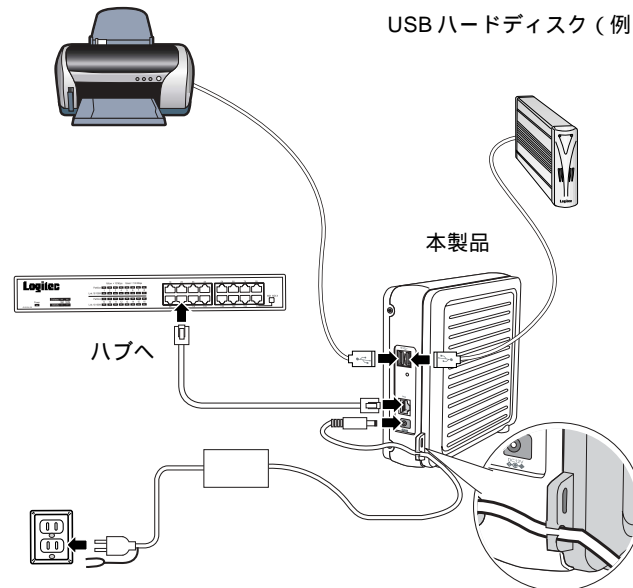
以上で接続は終了です。全体の接続図は右のようになります。

接続可能な USB 機器については弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) をご確認ください。

接続例

USB プリンタ (例)

USB ハードディスク (例)



AC100V のコンセントへ

AC アダプタのケーブルは、AC ケーブルフックにはめ込んでおきます

システムの起動とシャットダウン

システムが起動するまで

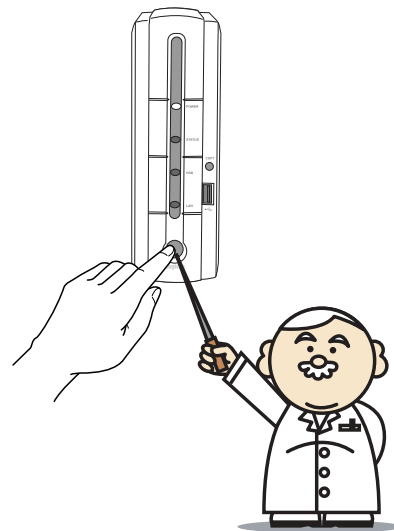
本製品前面の電源スイッチを押してください。

電源表示ランプが点滅します。

30 秒ほどしてピーブ音となり、ステータス表示ランプが点灯します。

30 秒ほどして電源表示ランプが点灯したら、システム起動完了です。

システム起動後の設定については、ソフトウェアマニュアルをご参照ください。



シャットダウン

本製品の電源を OFF する場合は、前面の電源スイッチをピーブ音が鳴るまで押し続けてください。自動的にシャットダウン処理が開始されます。システムの終了までには数十秒かかります。

停電などによる不意の電源切断に備えるため UPS（無停電電源ユニット）の使用をお勧めします。

USB 機器の使用について

本製品にはUSBポートが3つ装備されています。このUSBポートにUSBプリンタ、USBハードディスクなどを接続して使用することができます。

USB プリンタ

本製品にUSBプリンタを接続すると、WindowsユーザがUSBプリンタを共有できるようになります。また、接続したプリンタがPostscript対応の場合のみ、MacintoshユーザからもUSBプリンタを共有することができます。

ユーザは、使用するクライアントからドライバのインストールなど必要な設定を行えばプリンタが使用可能となります。詳しい設定方法については「ネットワークプリンタの設定」をご参照ください。

本製品に接続できるプリンタは1台までです。2台以上接続しないでください。

USB ディスク

本製品にはUSBディスクを一度に3台まで接続して使用することができます。USBディスクは、以下の3つの用途で使用可能です。

・共有フォルダとしてUSBディスク

USBディスクのデータ領域を共有フォルダとして使用することができます。

ただし、USBディスクに対して、デフォルトのアクセス権（全ユーザーリード/ライト可）の設定を変更する事はできません。

・バックアップとしてのUSBディスク

接続したUSBディスクを本製品内のデータのバックアップ用として使用することができます。以下の2点にご注意ください。

1. バックアップとして使用する場合、USBディスクの容量は本製品と同等以上の容量のものでなければなりません。
2. ストレージマネージャ上でフォーマットを行う際、目的を「Backup」としてください。

・USBメモリコピー

USB接続対応のデジカメやUSBメモリ内のデータを、本製品内の「public」フォルダ内にある「USBCopy」フォルダ内へワンタッチでコピーすることができます。

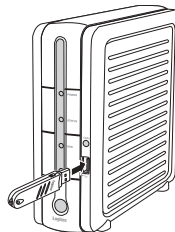
この操作は前面のUSBポートにUSBメモリなどをセットして行います。コピー方法については次ページをご参照ください。

USBディスクを取り外す際は必ず管理画面から行ってください。

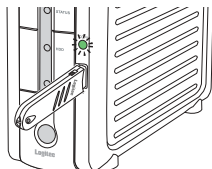
USBハブを介しての使用はおやめください。

USBメモリのコピー手順

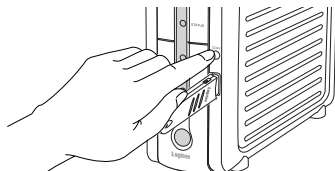
1. 本製品前面のUSBポートにUSBメモリやUSB接続タイプのデジカメなどを接続してください。



2. コピーボタンが緑色に点灯したら、コピーボタンをしっかりと押してください。コピーが開始されます。



点灯するのを確認



コピーボタンをしっかりと押します

3. コピー中は、コピーボタンが点滅を続けます。コピーボタンが消灯したら、コピーの完了です。これでUSBデバイスの取り外しが可能となります。

Tips

この操作でコピーを行った場合、アンプラグ処理までを自動的に行いますので、管理画面からの取り外し作業は必要ありません。

この操作でコピーを行うとLHD-LAN内の共有フォルダにUSBCopy***フォルダ(***には10桁の数字)が作成されます。このフォルダを開くと、コピーされたデータが保存されています。

10桁の数字はコピーボタンを押した年、月、日、時、分を表しています：

例 フォルダ名「0507071025」 2005年7月7日10時25分にコピーされたデータのフォルダという意味です。

なお、コピー先の共有フォルダは管理画面より設定できます。

注意！

2.2GBを超えるUSB機器からはコピーできません。(接続してもコピーボタンは点灯しません)

接続するポートは必ず前面のUSBポートとしてください。背面のポートではコピーできません。

接続できるUSB機器については、弊社Webサイト (<http://www.logitech.co.jp>) でご確認ください。

ハードウェア仕様 (LHD-LANGV シリーズ)

LHD-LANGE シリーズ

LHD-LANE シリーズ

LHD-LANG シリーズ

LHD-LAN シリーズ

型番		LHD-LAN160GV	LHD-LAN250GV	LHD-LAN300GV
搭載ディスク	データ領域容量 *1	154.5GB	231.8GB	290.2 GB
	ドライブ構成	160GB x 1	250GB x 1	300GB x 1
障害通知機能		電子メール通知、LED		
管理機能		Web ベースのリモート管理		
登録可能ユーザ数		128		
登録可能グループ数		64		
登録可能共有フォルダ数		100		
最大同時ログイン可能クライアント数		32		
推奨アクセスクライアント数		10		
対応ネットワーク	プロトコル	TCP/IP, AppleTalk		
	ファイルシステム	SMB (CIFS), AFP, FTP		
	インターフェース	1000BASE-T / 100BASE-TX		
USBポート	ポート数	1 (RJ-45)		
	タイプ	USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)		
搭載OS		Synology DiskStationOS		
メモリ		64 MB		
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温度	- 20 ~ 50	
		相対湿度	20% ~ 80%	
発熱量		52.2 kJ/h		
エネルギー消費効率 *3		区分B, 0.091 W/GB	区分B, 0.058 W/GB	区分C, 0.049 W/GB
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz		
消費電力 (TYP) *4	動作時	16W		
	スリープ時	9W以下		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		60 × 181 × 213 mm *5		
質量		1.4 Kg *5		
本体カラー		白		
設置方向		垂直のみ *6		

*1 1GB =1,000,000,000 バイトとして計算。
OS のバージョンにより、値が異なる場合があります。

*2 ただし、結露なきこと

*3 省エネ法に基づく表示

*4 AC アダプタを含む

*5 本体のみ

*6 横置きでの設置はご遠慮ください。

ハードウェア仕様 (LHD-LANGE シリーズ)

型番		LHD- LAN250GE	LHD- LAN300GE
搭載 ディスク	データ領域容量 *1	231.8GB	290.2 GB
	ドライブ構成	250GB x 1	300GB x 1
障害通知機能		電子メール通知、LED	
管理機能		Web ベースのリモート管理	
登録可能ユーザ数		128	
登録可能グループ数		64	
登録可能共有フォルダ数		100	
最大同時ログイン可能クライアント数		32	
推奨アクセスクライアント数		10	
対応 ネットワーク	プロトコル	TCP/IP , AppleTalk	
	ファイルシステム	SMB (CIFS) , AFP , FTP	
	インターフェース	1000BASE-T / 100BASE-TX	
	ポート数	1 (RJ - 45)	
USBポート	タイプ	USB 2.0 High- Speed (USB 1.1 互換)	
	ポート数	3 (USB シリーズ A)	
搭載OS		Synology DiskStationOS	
メモリ		64 MB	
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 80%
発熱量		52.2 k J / h	
エネルギー消費効率 *3		区分B, 0.058 W/GB	区分C, 0.049 W/GB
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (TYP) *4	動作時	16W	
	スリープ時	9W以下	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		60 × 181 × 213 mm *5	
質量		1.4 Kg *5	
本体カラー		白	
設置方向		垂直のみ *6	

- *1 1GB = 1,000,000,000 バイトとして計算。OS のバージョンにより、値が異なる場合があります。
- *2 ただし、結露なきこと
- *3 省エネ法に基づく表示
- *4 AC アダプタを含む
- *5 本体のみ
- *6 横置きでの設置をご遠慮ください。

ハードウェア仕様 (LHD-LANG シリーズ)

型番		LHD-LAN160G	LHD-LAN250G	LHD-LAN300G
搭載ディスク	データ領域容量 *1	158.5GB	248.0GB	297.8 GB
	ドライブ構成	160GB x 1	250GB x 1	300GB x 1
障害通知機能		電子メール通知、LED		
管理機能		Web ベースのリモート管理		
登録可能ユーザ数		128		
登録可能グループ数		64		
登録可能共有フォルダ数		100		
最大同時ログイン可能クライアント数		32		
推奨アクセスクライアント数		10		
対応ネットワーク	プロトコル	TCP/IP, AppleTalk		
	ファイルシステム	SMB (CIFS), AFP, FTP		
	インターフェース	1000BASE-T / 100BASE-TX		
USBポート	ポート数	1 (RJ-45)		
	タイプ	USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)		
搭載OS		Synology DiskStationOS		
メモリ		64 MB		
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温度	- 20 ~ 50	
		相対湿度	20% ~ 80%	
発熱量		52.2 kJ/h		
エネルギー消費効率 *3		区分B, 0.091 W/GB	区分B, 0.058 W/GB	区分C, 0.049 W/GB
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz		
消費電力 (TYP) *4	動作時	14.5 W		
	スリープ時	8 W以下		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		60 × 181 × 213 mm *5		
質量		1.3 Kg *5		
本体カラー		黒 / シルバー		
設置方向		垂直のみ *6		

*1 1GB =1,000,000,000 バイトとして計算。
OS のバージョンにより、値が異なる場合があります。

*2 ただし、結露なきこと

*3 省エネ法に基づく表示

*4 AC アダプタを含む

*5 本体のみ

*6 横置きでの設置はご遠慮ください。

ハードウェア仕様 (LHD-LANE シリーズ)

型番		LHD-LAN160E	LHD-LAN250E	LHD-LAN300E
搭載ディスク	データ領域容量 *1	154.5GB	231.8GB	290.2 GB
	ドライブ構成	160GB x 1	250GB x 1	300GB x 1
障害通知機能		電子メール通知、LED		
管理機能		Web ベースのリモート管理		
登録可能ユーザ数		64		
登録可能グループ数		32		
登録可能共有フォルダ数		50		
最大同時ログイン可能クライアント数		16		
推奨アクセスクライアント数		8		
対応ネットワーク	プロトコル	TCP/IP, AppleTalk		
	ファイルシステム	SMB (CIFS), AFP, FTP		
	インターフェース	100 BASE-TX		
USBポート	ポート数	1 (RJ-45)		
	タイプ	USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)		
搭載OS	ポート数	3 (USB シリーズ A)		
	Synology DiskStationOS			
メモリ		32 MB		
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温度	- 20 ~ 50	
		相対湿度	20% ~ 80%	
発熱量		57.6kJ/h		
エネルギー消費効率 *3		区分B, 0.103 W/GB	区分B, 0.069 W/GB	区分C, 0.055 W/GB
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz		
消費電力 (TYP) *4	動作時	16W		
	スリープ時	9W以下		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		60 × 181 × 213 mm *5		
質量		1.3 Kg *5		
本体カラー		白		
設置方向		垂直のみ *6		

*1 1GB =1,000,000,000 バイトとして計算。
OS のバージョンにより、値が異なる場合があります。

*2 ただし、結露なきこと

*3 省エネ法に基づく表示

*4 AC アダプタを含む

*5 本体のみ

*6 横置きでの設置はご遠慮ください。

ハードウェア仕様 (LHD-LAN シリーズ)

型番		LHD-LAN160	LHD-LAN250	LHD-LAN300
搭載ディスク	データ領域容量 *1	158.5GB	248.1GB	297.8 GB
	ドライブ構成	160GB x 1	250GB x 1	300GB x 1
障害通知機能		電子メール通知、LED		
管理機能		Web ベースのリモート管理		
登録可能ユーザ数		128		
登録可能グループ数		64		
登録可能共有フォルダ数		100		
最大同時ログイン可能クライアント数		32		
推奨アクセスクライアント数		16		
対応ネットワーク	プロトコル	TCP/IP, AppleTalk		
	ファイルシステム	SMB (CIFS), AFP, FTP		
	インターフェース	100 BASE-TX		
	ポート数	1 (RJ-45)		
USBポート	タイプ	USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)		
	ポート数	3 (USB シリーズ A)		
搭載OS		Synology DiskStationOS		
メモリ		64 MB		
環境条件 *2	動作時	温度	10 ~ 35	
		相対湿度	20% ~ 80%	
	保管時	温度	- 20 ~ 50	
		相対湿度	20% ~ 80%	
発熱量		57.6kJ/h		
エネルギー消費効率 *3		区分B, 0.1009W/GB	区分B, 0.0645W/GB	区分C, 0.0537W/GB
入力電圧		AC 100V ± 10% 50/ 60 Hz		
消費電力 (TYP) *4	動作時	16W		
	スリープ時	9W以下		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		60 × 181 × 213 mm *5		
質量		1.4 Kg *5		
本体カラー		黒 / シルバー		
設置方向		垂直のみ *6		

*1 1GB =1,000,000,000 バイトとして計算。
OS のバージョンにより、値が異なる場合があります。

*2 ただし、結露なきこと

*3 省エネ法に基づく表示

*4 AC アダプタを含む

*5 本体のみ

*6 横置きでの設置はご遠慮ください。

その他

ここでは、よくある質問に対する回答や、弊社修理・サポート窓口の連絡先などをご案内しております。参照したいトピックをクリックしてください。

故障かな？と思ったら

用語集

設定制限表

保証とサービスについて

故障かな？と思ったら

パスワードを忘れた場合

一般アカウントのパスワードを忘れたら、システム管理者に個人設定を設定し直してもらいます。ただし、システム管理者のパスワードを忘れた場合、設定の変更やバックアップなどを行うことは一切できなくなりますのでご注意ください。

クイックセットアップツールで NAS が認識されない

以下の点をご確認ください。

1. 本製品が LAN に接続しているかを確認する。
2. 使用している LAN ケーブルを別のものと変えてみる。
3. 本製品が電源に接続され、電源が入っているかを確認する。
4. 本製品の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複していないか確認する。
5. 使用しているクライアントコンピュータとセットアップする NAS サーバが 同じサブネット上(ネットワークアドレス上)に存在していることを確認する。
6. 常駐プログラム(アンチウイルスソフト等)を外す。
7. 別のクライアントでためしてみる。
8. ハブを変えてみる。
9. ハブのポートを変えてみる。
10. パーソナルファイアーウォールを外す。

アクセス制限をかけている共有フォルダに、未許可のユーザがアクセスできてしまう。

ユーザがドライブマップウィザード機能を使用して管理者(admin)権限で共有フォルダをマッピングした場合、以後コンピュータを再起動しても、そのユーザからのアクセスは常に管理者(admin)からのものとして処理されます。この場合、そのユーザのマイコンピュータ上でネットワークドライブのマッピングを解除してください。これにより、そのユーザは登録されている権限でしかアクセスできなくなり、制限が有効になります。

クライアント PC から本製品にアクセスできない

Windows/Macintosh クライアントがサーバにアクセスできない場合は、以下を確認してください。

1. クライアント PC に正しく IP アドレスが設定されているかを確認します。
2. ストレージマネージャの「ネットワーク設定」が正しく設定されているかを確認します。
3. 本製品と同じ IP またはサーバ名を使用しているホストがネットワーク上に存在しないかを確認します。存在する場合は、競合しないように IP アドレスとサーバ名を変更してください。
4. LogitecNAS では、同時にネットワークにログオンできるクライアントは最大 20 です。しばらく待ってから再度接続を試みる必要がある場合があります。
5. Windows 2000 クライアントが不意にアクセス権限フォルダにアクセスできなくなった場合は、NAS サーバにログインする際にサーバから一度ログアウトし、再度ログインし直してみてください。
6. 上記の設定がすべて正しい場合は、NAS サーバを再起動してください。

Macintosh クライアントで本製品が見つからない。

以下の事項を確認してください。

1. 本製品の電源が入っていて、LAN に接続されていることを確認します。
2. Macintosh クライアントが他の AppleTalk サーバに接続できるかを確認します。接続できない場合、この Macintosh クライアントのネットワーク設定が正しくない可能性があります。
3. 管理者が、「ネットワーク設定」 - 「Win/Mac OS」タブ内の Apple Talk ゾーンを正しく設定していることを確認してください。

Macintosh クライアント経由で、本製品上にある特定の共有フォルダのファイルにアクセスできない

1. 本製品にそのような共有フォルダがあるか確認します。
2. フォルダ名ファイル名に 31 文字を越える文字列を使用していないか確認します。
3. 管理者が、AppleTalk または TCP/IP プロトコル上で Apple ネットワーキング接続を有効にしていることを確認します。
4. このアカウントが、共有フォルダに対するアクセス権があるか確認します。
5. ユーザーが guest としてログインする場合に、システムアドミニストレータが guest アカウントにパスワードを設定していないことを確認します。
6. 本製品と同じ IP または LHD-LAN 名称を使用しているホストがネットワーク上に存在しないかを確認します。存在する場合は、極力早期に状態を正します。
7. 本製品では、同時にネットワークにログオンできるクライアントは最大 20 です。しばらく待ってから再度接続を試みる必要がある場合があります。
8. 上記の設定がすべて正しい場合は、NAS サーバを再起動してください。

ハードディスクエラー

本製品はシングルディスクタイプなので、ディスク上のデータの冗長性がありません。したがって、ハードディスクが損傷すると、そこに保存されているすべてのデータが失われます。データのバックアップは必ず定期的に行ってください。

Windows クライアントがNAS サーバに直接保存したファイルを Macintosh クライアントが実行できない

Macintosh クライアントおよび Windows クライアントは同じフォルダを共有できます。しかし、Macintosh のシステムおよび Windows のシステムは異なる方法でファイルの関連を処理するため、pdf や html などの Macintosh システムおよび Windows システムの両方がサポートするファイルへのアクセスは制限されることがあります。

たとえば、Windows クライアントが html ファイルを NAS サーバに保存する場合、Macintosh クライアントは、ウェブブラウザを自動的に起動させてファイルを開くためにこのファイルをサーバ上でダブルクリックすることができません。Windows システムが「関連するファイルの種類」を保存する方法が Macintosh システムの方法と異なっているため、Macintosh システムは、Windows システムで作成された html ファイルをどのプログラムで開くことができるか判別できません。2 つの解決方法があります。

1. このファイルの関連を Macintosh クライアント上で設定し直します。
2. Macintosh クライアントでそのファイルを実行するために使用するプログラムを最初に起動します。この場合、Internet Explorer を起動し、次にそのブラウザでファイルを開きます。もう一つの方法として、新規ファイルを Macintosh の形式で保存するために、[別名で保存] を使用してそのファイルを Macintosh クライアントで保存します。ファイルを開く場合は、それをダブルクリックします。

Macintosh クライアントが NAS サーバに保存したファイルを Windows クライアントが直接開くことができない場合にも同じ方法で解決することができます。

Macintosh クライアントが 4GB を超える単一ファイルを NAS サーバに保存できない。

これは Macintosh クライアントのシステムの制限によるためです。「設定制限表」を参照

Macintosh クライアントが NAS に保存したファイルを Windows クライアントが削除できない

Macintosh システムでは、ファイル名の最後の桁をスペースにすることができますが、Windows システムではこの形式を使用することはできません。したがって、Macintosh クライアントがこの形式のファイルを NAS サーバ上に保存する場合、Windows クライアントはそれを認識できないためファイルを削除することができません。NAS サーバ上で Windows クライアントとファイルを共有する必要がある場合、Macintosh ユーザーはファイル名の最後をスペースとして保存しないようにすることをお勧めします。

機種依存文字って何？

機種依存文字とは、OS により異なる文字コードを持った文字のことです。したがって、異なる OS でファイルを共有する際には機種依存文字に気をつけなければなりません。ファイル名に機種依存文字を使用しないようにしてください。

< 機種依存文字の例 >

（株） など

ネットワーク環境設定を変更したら NAS に接続できない

ネットワークの環境設定を修正し（アドレス、ドメイン、DNS データ、等を含みます）ネットワーク設定を再度確認し、必要に応じて変更します。ブラウザを閉じ、ストレージマネージャに再度接続を試みてください。

複数の NAS がネットワーク上に存在するときに、同じホスト名前を設定すると NAS が見えない

それぞれのホスト名を重複しない別の名前に変更してください。

A

Apple Talk

Macintosh で通信を行うためのネットワークプロトコル。最近の Macintosh マシンは、この他に TCP/IP による通信も可能となっています。

C

CIFS (SMB) 共有

CIFS は Windows OS と通信を行うためのプロトコルです。これを使用して、Windows パソコンで共有できるネットワーク・ストレージなどを実現するのが「CIFS (SMB) 共有」です。

D

DHCP

ネットワークに接続したクライアントコンピュータに対して、IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルです。また、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバなどの情報も自動的に取得できるため、このプロトコルを使用すると、クライアントコンピュータの設定が非常に容易になります。

DNS (Domain Name System)

クライアントから送られたホスト名を、IP アドレスに変換して返す分散型データベースシステムです。TCP/IP を使用したネットワークでは、他のコンピュータなどをアクセスするために IP アドレスが必要になりますが、IP アドレスは単なる数字の羅列に過ぎないため人間には非常にわかりにくいという欠点があります。

DNS があれば、この欠点を補って人間にわかりやすいホスト名で他のパソコンにアクセスすることができます。

I

IP address (IP アドレス)

TCP/IP を使用したネットワーク (例えばインターネット) で、個々のコンピュータを識別するために使用される 32 ビット数値です。通常、「192.168.1.1」のように 8 ビットずつ (0 ~ 255) ペリオドで区切った 4 個の 10 進数で標記します。

IP アドレスはコンピュータの識別に使用されるため、同じ IP アドレスを持つコンピュータがネットワーク上に複数存在してはいけません。

M

MAC Address (マックアドレス)

Ethernet などで使用されるネットワークインターフェース固有の識別番号です。48 ビットの数値ですが、通常「00-A1-CD-65-C4-75」のように 8 ビットずつハイフンで区切った 6 個の 16 進数で標記します。

Ethernet ではこの識別番号がネットワークインターフェース製造時に与えられ、これを消去したり、変更することはできません。そのため、ある MAC アドレスを持つネットワークインターフェースは世界中で 1 つしかありません。MAC アドレスがわかれば使用しているネットワークインターフェースが特定されます。

N

NTP (NetWork Time Protocol)

ネットワーク内の時刻調整を特定のサーバに合わせるプロトコル。他のコンピュータはそのサーバを参照して時刻を決定するのでネットワーク内では常に同じ時刻が設定されます。ただし、通信の状況等により多少のずれはありえます。

S

SMB (CIFS) 共有

Server Message Block の略

Windows OS と通信を行うためのプロトコルでファイルサービスなどを実現します。

SMTP (Simple mail transfer protocol)

E-mail を送信するためのプロトコルです。

SMTP サーバは E-mail を送信するためのサーバとなります。

T

TCP/IP

(Transmission Control Protocol / Internet Protocol) インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。

W

WINS (Windows Internet Name Services)

Windows 環境でネットワーク環境内の装置(パソコンやプリンタなど)を IP アドレスではなくわかりやすい名前へ置き換えるサービス。このサービスを使用すると、端末のコンピュータからはその名前を参照すれば特定の装置へアクセスすることができるようになる。もちろん、端末のコンピュータもわかりやすい名前に設定できる。Windows NT 4.0 以降の Windows 系サーバには WINS サーバ機能がある。

あ行

アクセス権

ファイルやフォルダに対してアクセスするための権利です。アクセス権には、アクセス不可（アクセス拒否）や、読み取り専用（リードオンリー）、無制限（フルアクセス）などのレベルがあります。

アクセス権を設定する事により、特定のファイル（フォルダ）に対してアクセス出来ないようにしたり、重要なファイルを書き換えられたり、削除されるのを防ぐ事ができます。

なお、本製品では共有フォルダのみアクセス権を設定する事ができます。

インターネットプロトコル（IP）

（Internet Protocol）ネットワーク上でのデータ転送のための1つの階層であり、上位に存在するTCPというデータ転送を保存するプロトコルとまとめてTCP/IPといます。

か行

ゲートウェイ（Gateway）

ゲートウェイは複数のネットワーク同士の入口/出口です。同一ネットワーク上に存在しないコンピュータにデータを転送するような場合、ゲートウェイ経由でデータは転送されます。

デフォルトゲートウェイは転送先へのルートがわかっていないときに使用されるゲートウェイです。通常、コンピュータにはデフォルトゲートウェイのIPアドレスだけを設定しておけば、あとはそのデフォルトゲートウェイが適切な接続を行います。

さ行

サブネットマスク (subnet mask)

大規模や中規模のLANで、管理を容易にするためにネットワークをさらに細かく分割したものを「サブネット」と呼びます。同一のサブネットに属するパソコンは、同じサブネットアドレス (IP アドレスの一部) を持っていなければなりません。

IP アドレスのうち、どの部分をサブネットアドレスとして使用するかを指定する数値が「サブネットマスク」で、IP アドレスと同じように8ビットの数字 (0 ~ 255) をピリオドで区切って4つ並べた形 (例えば「255.255.255.0」) で表記されます。サブネットアドレスはIP アドレスとサブネットマスクをAND処理することによって求められます。例えばIP アドレスが「192.168.1.10」でサブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、この2つの32ビット値をAND処理して、求められる「192.168.1.0」がサブネットアドレスになります。右表のような3台のパソコンがあった場合、パソコン1とパソコン2は同じサブネットに属していますが、パソコン3は異なるサブネットに属しています。

	パソコン1	パソコン2	パソコン3
IP アドレス	192.168.1.10	192.168.1.15	192.168.2.10
サブネットマスク	255.255.255.0		
サブネットアドレス	192.168.1.0		192.168.2.0

設定制限表

		WindowsXP	WindowsMe	Windows98	Windows2000	WindowsNT4.0	MacOS 9	MacOS X	推奨	
LHD-LAN名称 (ホスト名)	最大使用文字数	半角15文字								
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、下線、マイナス								
	その他制限事項	先頭を英字にすること								
ユーザ名	最大使用文字数	15文字								
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、下線、マイナス、ドット、全角日本語								
	その他制限事項	全角文字は機種依存文字を使用しないこと								
パスワード	最大使用文字数	12文字								
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別有り)、数字、記号、スペース								
	その他制限事項	全角文字使用不可								
コメント	最大使用文字数	半角64文字								
	使用可能文字	英字、数字、ドット、下線、マイナス、スペース、全角日本語								
	その他制限事項	全角文字は機種依存文字を使用しないこと								
グループ名	最大使用文字数	半角15文字								
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、ドット、下線、マイナス、全角日本語								
	その他制限事項	先頭を英字、数字、ドット、下線、全角日本語にする事、また、最後の文字はスペースを使用しないこと								
共有フォルダ名	最大使用文字数	32文字	12文字	12文字	32文字	12文字	15文字	15文字	12文字	
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、下線、マイナス、ドット、全角日本語								
	その他制限事項	先頭を英字、数字、スペースを使用しないこと、また、最後の文字はスペースを使用しないこと								
フォルダ名	最大使用文字数	フルパスで半角255文字以内					半角31文字	半角254文字	OSに依存*1	
	使用可能文字	英字(大文字、小文字の区別無し)数字、一部記号、スペース、全角日本語								
	その他制限事項	機種依存文字使用不可、半角記号「¥/.,?*"<> 」使用不可					機種依存文字使用不可		OSに依存*1	
ファイル名	最大使用文字数	フルパスで255文字以内					半角31文字	半角254文字	OSに依存*1	
	使用可能文字	英字(大文字、小文字の区別無し)数字、一部記号、スペース、全角日本語								
	その他制限事項	機種依存文字使用不可、半角記号「¥/.,?*"<> 」使用不可					機種依存文字使用不可		OSに依存*1	
1ファイル容量上限		1TB未満	500GB	2GB未満	1TB未満	1TB未満	4GB未満	4GB未満	OSに依存*1	
フォルダ階層数		フルパスで256文字以内								

*1: 複数のOSで共有するときは一番厳しい条件に合わせてください。

*本仕様については予告無く変更になる場合があります。予めご了承ください。

保証とサービスについて

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、次ページの「サポート/修理受付窓口のご案内」をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく） / 製品の名称 / シリアル番号（保証書に記載されています） / ご購入年月日、ご購入先

テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-050-060 FAX. 0570-033-034

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～18：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積りが必要な有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268

ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

- ・修理納期以外のお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。
- ・弊社Webサイトでは、修理に関するご説明や願いを掲載しております。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。